

令和2年度

安曇野市一般会計予算（案）の概要

財政部 財政課

令和2年度 一般会計予算（案）の概要

① 予算編成の基本方針

【基本方針の考え方】

令和2年度は、第2次総合計画策定から3年目を迎え、令和4年度（2022年）までを計画期間とする前期基本計画の中間年度となります。そのため、安曇野市が目指す将来都市像「北アルプスに生まれ 共に響き合う 田園産業都市安曇野」を実現すべく、これまでの進捗状況を十分に検証したうえ、前期基本計画に示す基本施策の確実な推進を進めます。

令和2年度の予算編成においては、急速に変化する社会情勢のなか、複雑化する市民ニーズに的確に対応しつつ、限られた財源をより効果的・効率的に分配することを基本とします。

このため、第2次総合計画の基本施策の中から、前年度に引き続き「積極的に強化すべき12施策」及び「最適化に向け見直すべき3施策」を重点化施策として推進すると共に、令和2年度（2020年度）から令和6年度（2024年度）までの5カ年を計画期間とする「第2期安曇野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げて取り組む事業の推進に向けて、戦略的な予算編成を行うと共に、持続可能な財政基盤の確立を目指します。

② 予算（案）の総額

令和2年度当初予算(案)額	421億8,000万円
(内、借換債分	5億9,420万円)

令和元年度当初予算額	411億5,000万円
------------	-------------







対前年度	10億3,000万円増 (2.5%増)
------	------------------------

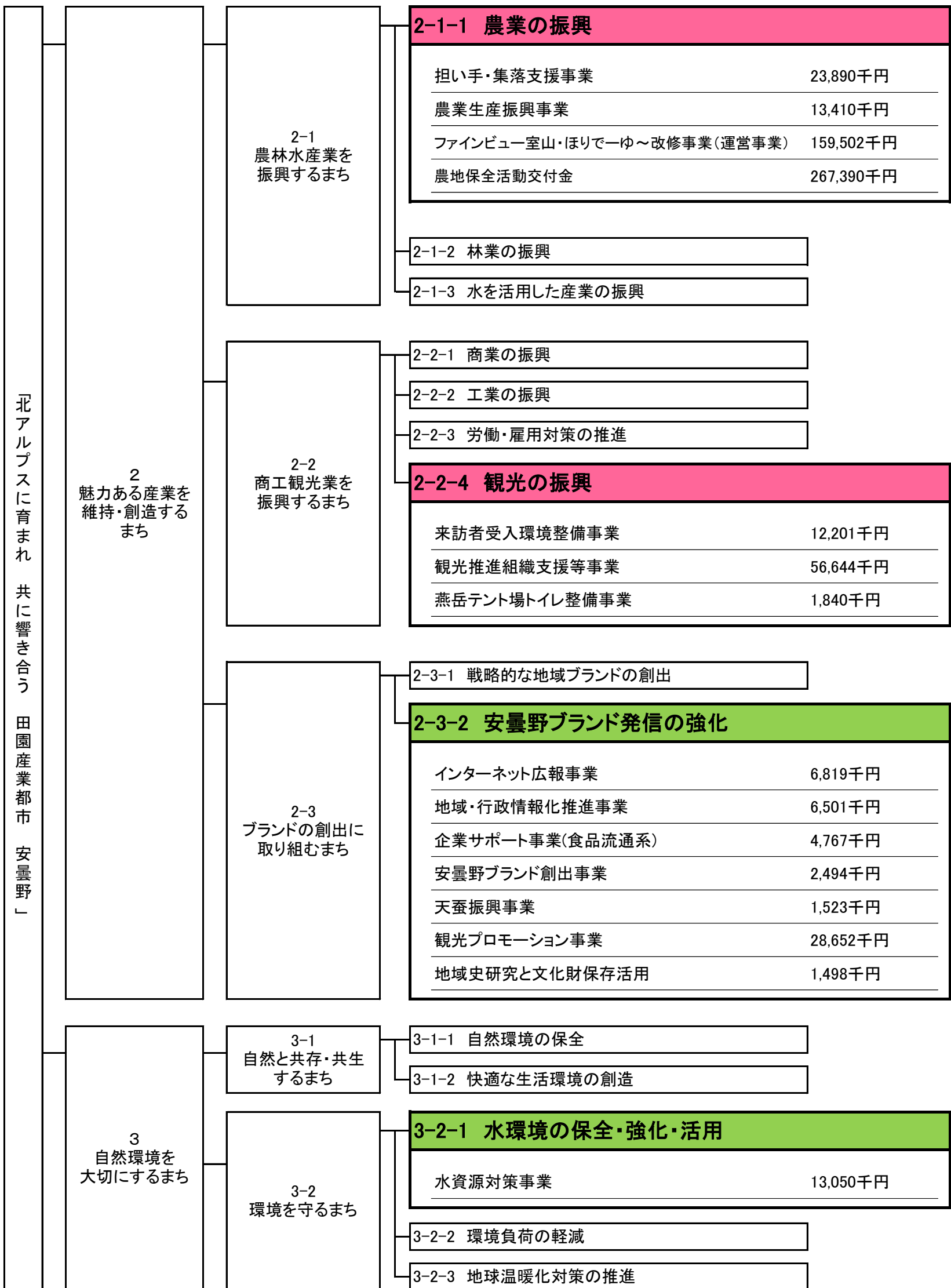
③ 令和2年度重点事業

ここでは、第2次総合計画の基本施策の中から実施計画において重点化施策として示された「積極的に強化すべき12施策」及び「最適化に向け見直すべき3施策」の計15施策(下表で着色のある施策)ごとに重点事業をまとめました。

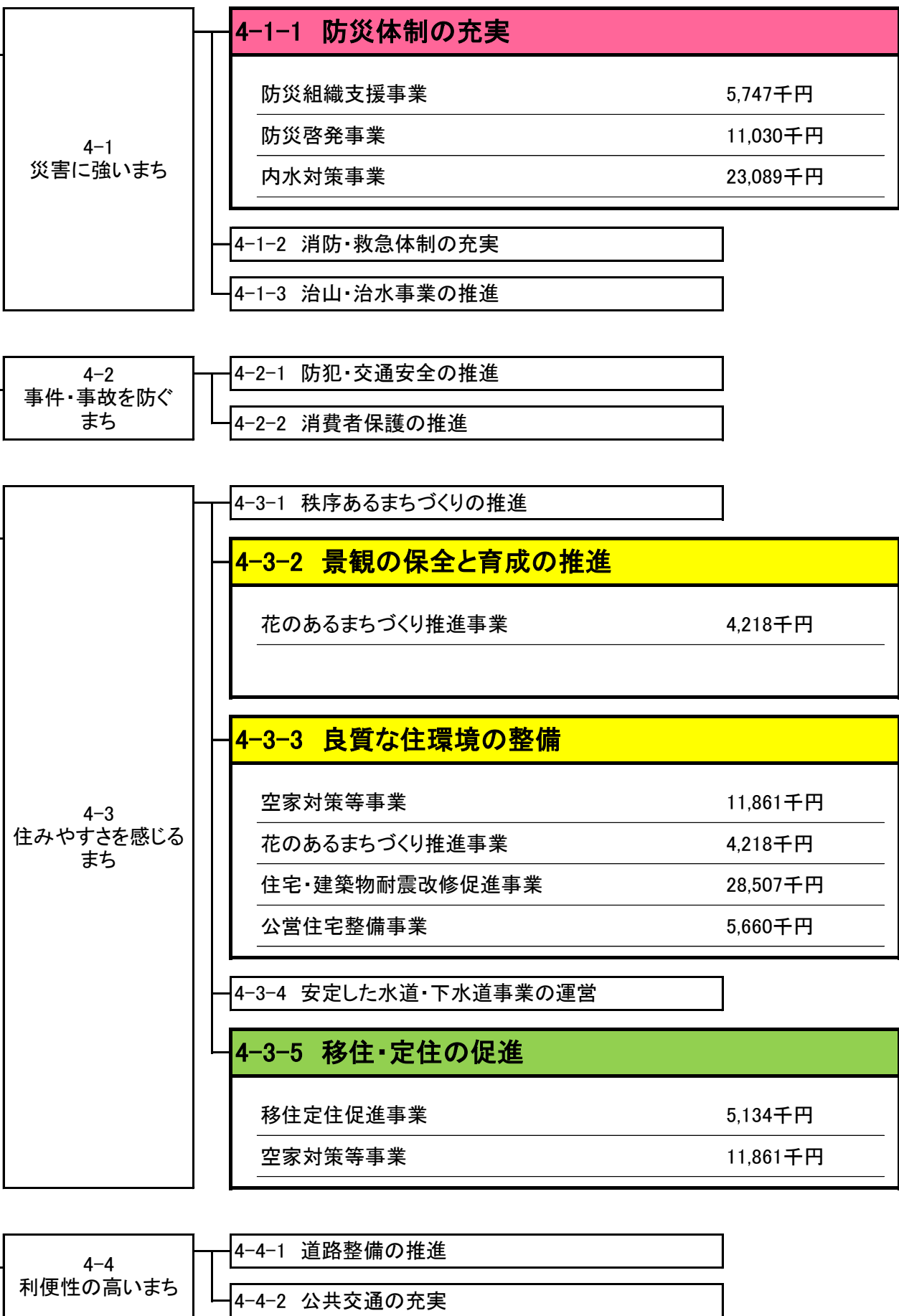
基本構想		前期基本計画			
将来都市像	基本目標	基本方針	基本施策 (着色部分はR2年度の重点化施策)		
「北アルプスに生まれ 共に響き合う 田園産業都市 安曇野」	計画の実現に向けて	基本計画の推進に当たっての経営方針	方針1 協働によるまちづくりの推進		
			方針2 広報・広聴の充実		
			方針3 地域情報化の推進		
			方針4 質の高い行政経営の推進		
			方針5 健全財政の堅持		
	1 いきいきと健康に暮らせるまち	1-1 健康を大切に するまち	1-1-1 健康づくりの推進		
			自転車活用推進事業	2,391千円	
			健康づくり事業	2,596千円	
				健康増進事業	12,755千円
				1-1-2 地域医療の充実	
1-2 一人ひとりが大切に されるまち		1-2-1 高齢者福祉の充実			
		特定健康診査等事業費	215,532千円		
		健康増進事業	12,755千円		
		一般介護予防事業	18,310千円		
		1-2-2 障がい者福祉の充実			
		1-2-3 生活困窮者への支援			
		1-2-4 人権の尊重			
1-3 安心して暮らせる まち	1-3-1 地域福祉の推進				
	1-3-2 出産・子育て支援の充実				
	子ども学習支援事業	3,344千円			
		児童発達支援事業	15,425千円		
		里山再生計画推進事業	6,659千円		

※上記の重点化施策は、第2次総合計画前期基本計画の重点施策ごとに色分けしています。

- | | | |
|--|---|--|
|  …(1)健康長寿のまちづくり |  …(2)活気に満ちた産業があるまちづくり |  …(3)出産・子育て環境が充実したまちづくり |
|  …(4)豊かな人を育むまちづくり |  …(5)防災力・減災力の強化に向けたまちづくり |  …(6)最適化に向け見直すべき施策 |

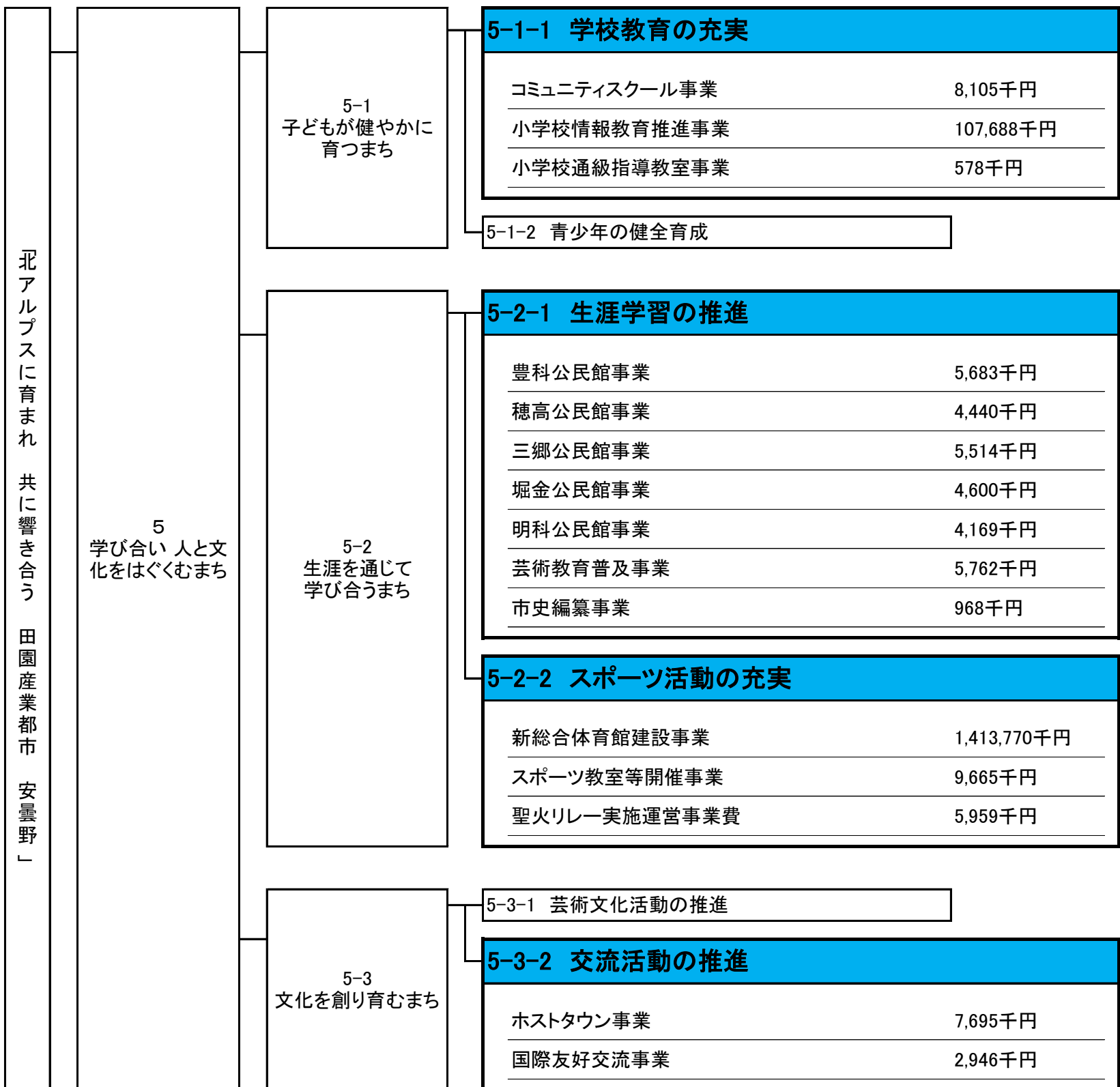


4
安全・安心で
快適なまち



※上記の重点化施策は、第2次総合計画前期基本計画の重点施策ごとに色分けしています。

- | | | |
|--|--|--|
| …(1)健康長寿のまちづくり | …(2)活力に満ちた産業があるまちづくり | …(3)出産・子育て環境が充実したまちづくり |
| …(4)豊かな人を育むまちづくり | …(5)防災力・減災力の強化に向けたまちづくり | …(6)最適化に向け見直すべき施策 |



※上記の重点化施策は、第2次総合計画前期基本計画の重点施策ごとに色分けしています。

- …(1)健康長寿のまちづくり
- …(2)活力に満ちた産業があるまちづくり
- …(3)出産・子育て環境が充実したまちづくり
- …(4)豊かな人を育むまちづくり
- …(5)防災力・減災力の強化に向けたまちづくり
- …(6)最適化に向け見直すべき施策

歳入・歳出予算の概要

1 歳入

区分	令和2年度	令和元年度	対前年度増減額	増減率%
市税	117億4,705万3千円	117億3,194万7千円	1,510万6千円	0.1%増
主な計上額				
	個人市民税		45億8,580万円	8,780万円
	法人市民税		8億4,060万円	△2億6,000万円
	固定資産税		54億5,235万3千円	1億5,820万7千円
	軽自動車税		3億3,830万円	2,710万円
	市たばこ税		4億8,000万円	0円
	入湯税		5,000万円	199万9千円
地方譲与税	5億1,456万4千円	5億500万円	956万4千円	1.9%増
主な計上額				
	地方揮発油譲与税		1億2,600万円	△3,500万円
	自動車重量譲与税		3億7,100万円	2,700万円
	森林環境譲与税		1,756万4千円	皆増
法人事業税交付金	1億1,200万円	0万円	1億1,200万円	皆増
主な増減要因				
新たに創設される同交付金について、1億1,200万円を見込む				
地方消費税交付金	20億8,500万円	17億5,000万円	3億3,500万円	19.1%増
主な増減要因				
消費税増税の反映による				
環境性能割交付金	4,200万円	2,000万円	2,200万円	110%増
主な増減要因				
交付実績から見込額を算定した結果による				
地方特例交付金	9,980万円	8,100万円	1,880万円	23.2%増
主な計上額				
	個人住民税減収補填特例交付金		8,500万円	400万円
	自動車税減収補填特例交付金		780万円	皆増
	軽自動車税減収補填特例交付金		700万円	皆増
地方交付税	102億5,000万円	102億2,000万円	3,000万円	0.3%増
主な計上額				
	普通交付税		96億5,000万円	3,000万円
	特別交付税		6億円	0円
分担金及び負担金	2億9,121万3千円	6億5,421万8千円	△3億6,300万5千円	△55.5%
主な計上額				
	児童クラブ負担金		4,252万2千円	129万2千円
	保育児童保育料		1億8,488万1千円	△3億4,740万2千円
	道路復旧原因者負担金		3,000万円	0円
国庫支出金	43億5,757万円	40億5,876万9千円	2億9,880万1千円	7.4%増
主な計上額				
	子どものための教育保育給付費負担金		1億9,611万9千円	1,275万円
	自立支援給付費負担金		7億2,280万6千円	△1,197万6千円
	生活保護費国庫負担金		4億9,767万7千円	△5,335万8千円
	児童手当国庫負担金		10億1,027万4千円	△2,749万円
	道路改良費補助金		2億4,322万5千円	△593万3千円
	社会資本整備総合交付金(公園, 街路, 体育館)		7億9,320万円	3億6,678万9千円
	都市再生整備計画事業		1億7,952万円	488万4千円
	学校施設環境改善交付金		277万7千円	△9,204万8千円

区分	令和2年度	令和元年度	対前年度増減額	増減率%
県支出金	24億1,299万9千円	23億1,787万5千円	9,512万4千円	4.1%増
主な計上額				
	子どものための教育保育給付費負担金	9,805万9千円	640万円	
	自立支援給付費負担金	3億6,140万3千円	△598万8千円	
	児童手当県費負担金	2億2,137万3千円	△483万2千円	
	保険基盤安定負担金	2億8,308万4千円	△214万8千円	
	後期高齢者医療保険基盤安定負担金	2億242万円	2,629万円	
	福祉医療給付事業補助金	2億1,778万4千円	349万7千円	
	6次産業化交付金	7,410万円	皆増	
	森林健全化推進事業補助金	8,698万2千円	342万4千円	
	多面的機能支払推進交付金	2億38万7千円	238万7千円	
寄付金	3億2千円	3億2千円	0円	0%
主な計上額				
	ふるさと寄附金	3億円	0円	
	指定寄附、一般寄附	2千円	0円	
繰入金	19億4,758万7千円	18億5,664万7千円	9,094万円	4.9%増
主な基金の繰入額				
	財政調整基金の繰入（財源調整のため）	5億9,460万5千円	3,146万3千円	
	減債基金の繰入（償還金財源のため）	2億円	0円	
	公共施設整備基金の繰入（施設整備のため）	5億円	△2億円	
その他				
	地域振興基金繰入金	1億3,080万円		
（区交付金、つながりひろがる地域づくり事業補助金、地区公民館補助金、市制施行15周年記念式典実施事業）				
	ふるさと寄附基金繰入金	3億200万円		
	堀金観光開発基金繰入金	6,800万1千円		
	霊園基金繰入金	6,944万3千円		
	三郷農林漁業体験実習館基金繰入金	1,792万2千円		ほか
市債 （うち借換債）	61億1,090万円 （5億9,420万円）	56億1,700万円 （8億2,060万円）	4億9,390万円 （△2億2,640万円）	8.8%増
主な計上額				
○旧合併特例事業債（45億7,500万円）				
	保育所建設事業	1億7,130万円	街路事業	5,300万円
	一般会計出資債（上水道分）	7,480万円	消防団詰所統廃合事業	3,540万円
	新ごみ処理施設建設事業	23億9,190万円	体育施設整備事業	6億6,980万円
	市道新設改良事業	4億3,940万円	借換債（旧合併特例事業債）	5億9,420万円
	都市公園事業	1,900万円		ほか
○公共事業等債（2億1,560万円）				
	県営かんがい排水事業	390万円	県営ほ場整備事業	150万円
	県営農道整備事業	1,280万円	都市再生整備計画事業	1億9,740万円
○その他（1億2,530万円）				
	市単農道舗装事業	2,690万円	道路橋梁維持事業（長寿命化）	3,600万円
	都市公園事業（長寿命化）	3,450万円	防災基盤整備事業	1,810万円
				ほか
○臨時財政対策債 11億9,500万円（対前年 △2,200万円）				

2 目的別歳出

新…新規事業、重…重点事業、強…一部強化事業

区分	令和2年度	令和元年度	対前年度増減額	増減率%	
議会費	2億4,702万6千円	2億5,351万3千円	△648万7千円	△2.6%	
	主要な事業（主な内容）				
	議員報酬、手当		1億2,875万1千円	△547万円	
			議員共済納付金	3,492万9千円	△166万3千円
			会議録調製業務	982万円	0円
区分	令和2年度	令和元年度	対前年度増減額	増減率%	
総務費	43億9,926万7千円	42億788万9千円	1億9,137万8千円	4.5%増	
	主要な事業（主な内容）				
	強	平和都市宣言事業	335万8千円	107万5千円	
		寄附採納事務	4億3,611万5千円	9,821万8千円	
	強	職員勤務管理事業	169万9千円	△380万9千円	
	重	移住定住促進事業	513万4千円	88万9千円	
	重・強	自転車活用推進事業	239万1千円	△177万9千円	
	重・強	国際友好交流事業	294万6千円	△529万7千円	
	重・強	ホストタウン推進事業	769万5千円	74万6千円	
		公共交通事業	7,647万3千円	△591万2千円	
	新	市制施行15周年記念式典実施事業	172万7千円	皆増	
	重・強	インターネット広報事業	681万9千円	△1万5千円	
	重	地域・行政情報化推進事業	650万1千円	112万円	
	新	押野集会施設解体事業	2,664万5千円	皆増	
	強	区等地域力向上事業	1億2,052万6千円	1,180万8千円	
		防犯灯管理運営費	2,412万5千円	△127万9千円	
	重	水資源対策費	1,305万円	556万3千円	
区分	令和2年度	令和元年度	対前年度増減額	増減率%	
民生費	129億4,927万1千円	132億8,658万8千円	△3億3,731万7千円	△2.5%	
	主要な事業（主な内容）				
		入浴料金割引券交付事業	2,462万9千円	263万1千円	
	新	宅幼老所等整備事業	750万円	皆増	
		アクティブシニアがんばろう事業	1,027万5千円	△22万円	
		老人福祉施設入所措置事業	9,918万1千円	233万9千円	
		明科総合福祉センター給水設備更新事業	5,598万4千円	5,456万5千円	
		自立支援給付事業	14億9,534万8千円	△2,394万6千円	
	重	児童発達支援事業	1,542万5千円	122万9千円	
	新	地域生活支援拠点整備事業	171万5千円	皆増	
	新	児童発達支援等事業運営補助	445万円	皆増	
	重・強	子ども学習支援事業	334万4千円	230万2千円	
		生活保護費給付事業	6億1,320万円	△7,257万円	
	新	三郷社会就労センター空調機改修事業	862万4千円	皆増	
		児童手当給付事業	14億5,366万3千円	△3,715万3千円	
	強	児童扶養手当給付事業	3億7,749万9千円	7,490万5千円	
		公立認定こども園建設事業 (たつみ、明科南)	1億8,077万5千円	△5億3,113万6千円	
		上川手認定こども園改修事業	1,039万1千円	898万円	
	強	認可外保育施設支援事業	1,665万8千円	953万6千円	
	新	介護保険施設整備等補助事務	5,530万円	皆増	
		介護保険特別会計繰出金	13億5,422万8千円	2,537万1千円	
		国保会計繰出金	6億6,085万3千円	88万5千円	
		後期高齢者医療事業	12億9,070万2千円	6,415万4千円	
		後期高齢者医療人間ドック等助成事業	2,701万3千円	275万円	
		児童館運営事業（民間委託事業）	2億1,693万円	600万3千円	
	強	穂高北部児童館整備事業	3,585万2千円	3,526万9千円	
	新	明科総合福祉センターエアコン更新事業	797万5千円	皆増	

区分	令和2年度	令和元年度	対前年度増減額	増減率%
衛生費	49億7,393万8千円	38億652万円	11億6,741万8千円	30.7%増
主要な事業（主な内容）				
	新 穂高墓地公園外周擁壁改修事業		6,842万円	皆増
	重 空家対策等事業		1,186万1千円	1,058万8千円
	廃棄物収集運搬事業		3億5,840万8千円	2,348万9千円
	穂高広域施設組合新ごみ処理施設建設事業		28億1,655万2千円	14億320万9千円
	母子・子育て相談事業		618万1千円	4万5千円
	産前産後支援事業		1,407万2千円	57万5千円
	不妊・不育症治療費助成事業		2,018万1千円	△128万3千円
	新 骨髄バンクドナー助成事業		60万円	皆増
	予防接種事業		2億6,799万9千円	△204万1千円
	妊婦・乳児一般健康診査事業		7,872万3千円	△125万6千円
	夜間急病センター運営事業		2,374万4千円	22万4千円
	重 健康づくり事業		259万6千円	△15万5千円
	成人検診事業		8,967万円	1,025万4千円
	重・強 健康増進事業		1,275万5千円	28万5千円
	水道事業負担金		5,936万2千円	0円
	水道事業出資金		7,480万円	△8,750万円
区分	令和2年度	令和元年度	対前年度増減額	増減率%
労働費	8,900万7千円	6,161万4千円	2,739万3千円	44.5%増
主要な事業（主な内容）				
	勤労者支援事業		5,285万円	△30万円
	ふるさとハローワーク管理事業		315万円	73万6千円
	勤労者福祉センター管理事業		2,852万6千円	2,685万6千円
区分	令和2年度	令和元年度	対前年度増減額	増減率%
農林水産業費	17億6,332万6千円	17億4,207万6千円	2,125万円	1.2%増
主要な事業（主な内容）				
	安曇野の里改修事業		652万7千円	122万3千円
	重・強 ファインビュー室山改修事業		3,751万1千円	565万1千円
	重・強 ほりで一ゆ〜改修事業		1億2,199万1千円	2,705万7千円
	市農業振興作物等推進事業		5,494万7千円	△20万1千円
	果樹生産農家支援事業		1,306万4千円	△54万3千円
	三郷堆肥センター運営事業		1,580万円	△336万5千円
	重 担い手・集落支援事業		2,389万円	△331万4千円
	後継者育成事業		4,089万4千円	△828万6千円
	海外輸出販路開拓事業		304万円	△175万円
	強 農産物等販路拡大事業		8,422万5千円	8,002万円
	農家民宿推進事業		438万1千円	103万2千円
	重 農地保全活動交付金（多面的機能支払）		2億6,739万円	288万7千円
	新 農道舗装工事（公共施設等適正管理推進事業）		2,998万3千円	皆増
	重 里山再生計画推進事業		665万9千円	237万5千円
	松くい虫防除対策事業		1億3,067万1千円	△1,398万8千円
	新 森林経営管理等整備事業		1,940万7千円	皆増

区分	令和2年度	令和元年度	対前年度増減額	増減率%
商工費	16億6,789万6千円	16億6,584万2千円	205万4千円	0.1%増
主要な事業（主な内容）				
	商業事業者支援事業		87万4千円	△12万4千円
	制度資金貸付事業		9億2,580万4千円	48万6千円
	しごと創出事業		3,286万7千円	△592万4千円
	企業助成事業		2億664万6千円	△2,750万9千円
強	企業サポート事業（工業系）		1,280万3千円	592万6千円
	産業団地特別会計繰出金（建設・その他）		439万5千円	378万4千円
重・強	安曇野ブランド創出事業		249万4千円	8万8千円
重・強	天蚕振興事業		152万3千円	△52万9千円
重	来訪者受入環境整備事業		1,220万1千円	191万8千円
重・強	観光推進組織支援等事業		5,664万4千円	401万2千円
重・強	観光プロモーション事業		2,865万2千円	△129万円
強	観光イベント事業		3,569万1千円	△611万3千円
	登山道等整備事業		2,529万9千円	849万4千円
重・新	燕岳テント場トイレ整備事業		184万円	皆増
新	かじかの里トイレ整備事業		3,301万1千円	皆増

区分	令和2年度	令和元年度	対前年度増減額	増減率%
土木費	63億1,197万8千円	57億635万5千円	6億562万3千円	10.6%増
主要な事業（主な内容）				
重	新総合体育館建設事業		14億1,377万円	6億9,020万7千円
	県営新設改良事業負担金		1,830万円	225万円
重	内水対策事業		2,308万9千円	1,127万3千円
	市道新設改良事業(市単独)		2億9,003万円	3万円
	市道新設改良事業(合併特例債)		2億6,000万円	2,000万円
	市道新設改良事業(交付金)		2億8,500万円	5,700万円
	道路橋梁維持事業		2億8,190万円	△765万円
	除雪融雪事業		1億2,307万2千円	△1,898万7千円
	道路橋梁修繕事業(交付金)		1億7,250万円	△4,050万円
新	駅周辺整備事業（市単）		1,470万1千円	皆増
新	情報案内板整備		3,714万円	皆増
	街路整備事業（交付金）		1億2,720万円	1,849万8千円
	都市再生整備計画事業(明科駅周辺)		3億9,893万4千円	1,085万3千円
	公園施設長寿命化事業		1億3,394万2千円	4,711万2千円
重・新	花のあるまちづくり推進事業		421万8千円	皆増
新	宅地耐震化推進事業		623万7千円	皆増
重	住宅・建築物耐震改修促進事業		2,850万7千円	27万8千円
	下水道事業繰出金		19億9,289万円	△4,423万6千円

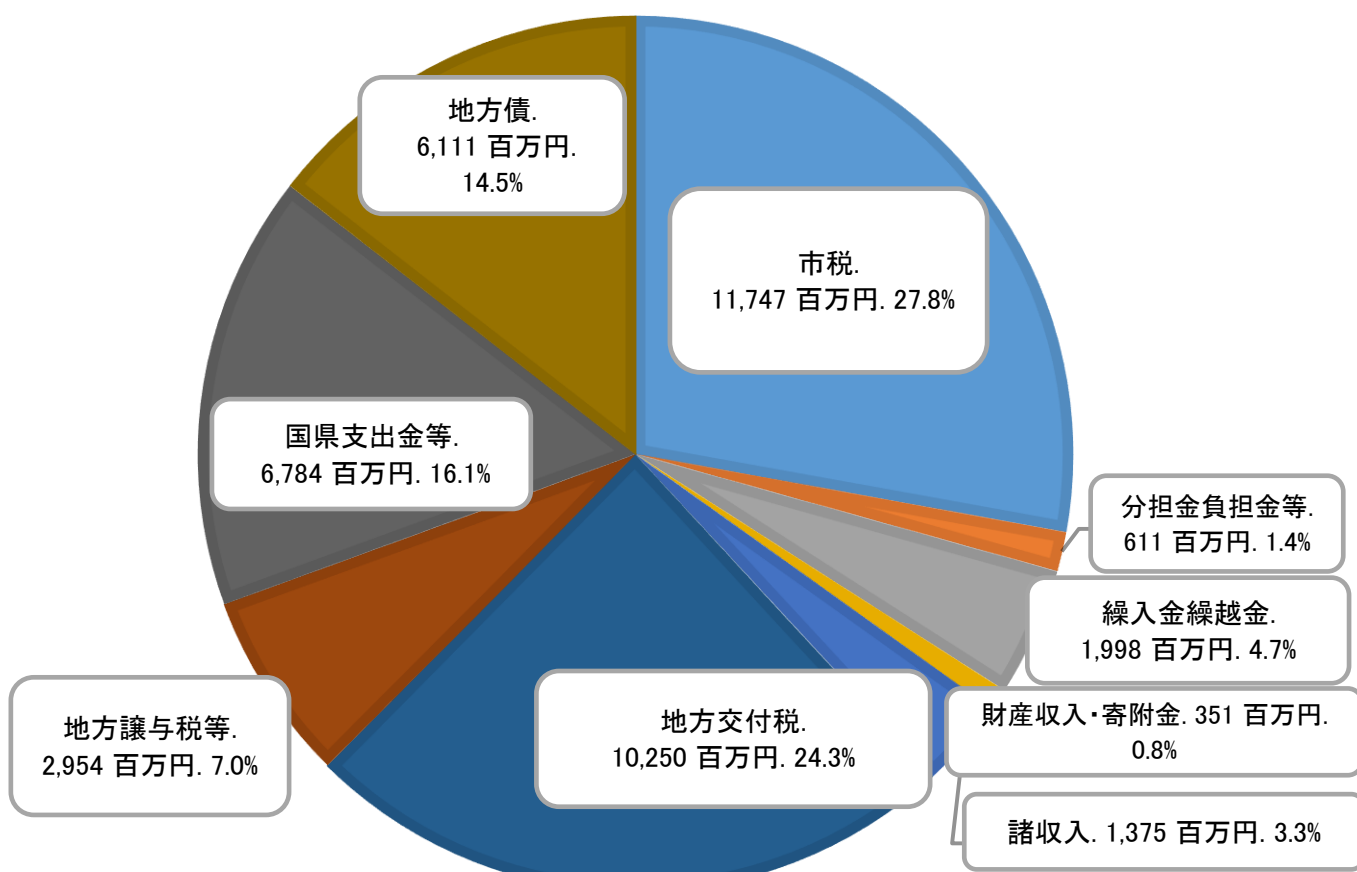
区分	令和2年度	令和元年度	対前年度増減額	増減率%
消防費	15億2,570万5千円	14億7,964万6千円	4,605万9千円	3.1%増
主要な事業（主な内容）				
重	防災啓発事業		1,103万円	△239万4千円
重	防災組織支援事業		574万7千円	△7万2千円
	常備消防負担金事業		11億672万9千円	2,183万4千円
	消防団車両更新事業		2,463万2千円	491万7千円
強	消防団詰所更新・統廃合事業		3,747万3千円	1,205万6千円
新	耐震性防火水槽新設・更新事業		885万3千円	皆増

区分	令和2年度	令和元年度	対前年度増減額	増減率%
教育費	30億5,581万3千円	35億3,758万3千円	△4億8,177万円	△13.6%
	主要な事業（主な内容）			
	学校支援員配置事業		1億7,577万8千円	2,973万8千円
重	小学校通級指導教室事業		57万8千円	18万4千円
	スクールバス運行事業		8,583万9千円	104万3千円
重	コミュニティスクール事業		810万5千円	△716万7千円
重	小学校情報教育推進事業		1億768万8千円	5,668万5千円
	中学生海外ホームステイ交流派遣事業		873万5千円	△7万4千円
重・新	聖火リレー実施運営事業費		595万9千円	皆増
重・強	スポーツ教室等開催事業		966万5千円	△115万円
重	芸術教育普及事業		576万2千円	183万4千円
重	地域史研究と文化財保存・活用		149万8千円	△218万1千円
	小学校施設改修事業 (豊科南、豊科東、穂高南、穂高西)		5,737万3千円	△5億9,556万6千円
	中学校施設改修事業 (豊科北、穂高東、堀金)		2,067万2千円	18,526万円
	中央公民館事業		3,777万円	△1,607万円
	図書館管理運営費		1億3,172万6千円	731万円
区分	令和2年度	令和元年度	対前年度増減額	増減率%
災害復旧費	2,323万5千円	150万円	2,173万5千円	1,449%増
	主要な事業（主な内容）			
	新 林道災害復旧事業		2,173万5千円	皆増
	道路災害復旧事業		150万円	0円
区分	令和2年度	令和元年度	対前年度増減額	増減率%
公債費	51億2,353万8千円	53億5,087万4千円	△2億2,733万6千円	△4.2%
	主要な事業（主な内容）			
	長期借入金償還元金 (上記のうち、H22年度地方債借換分	5億9,420万円)	49億5,835万9千円	△2億229万9千円
	長期借入金償還利子		1億6,367万9千円	△2,503万7千円

歳入

款	歳入項目	令和2年度(千円)	令和元年度(千円)	増減(千円)	増減率(%)
01	市税	11,747,053	11,731,947	15,106	0.1
02	地方譲与税	514,564	505,000	9,564	1.9
03	利子割交付金	10,000	20,000	△ 10,000	△ 50.0
04	配当割交付金	37,000	48,000	△ 11,000	△ 22.9
05	株式等譲渡所得割交付金	18,000	22,000	△ 4,000	△ 18.2
06	法人事業税交付金	112,000	0	112,000	皆増
07	地方消費税交付金	2,085,000	1,750,000	335,000	19.1
08	ゴルフ場利用税交付金	36,000	36,000	0	0.0
09	環境性能割交付金	42,000	20,000	22,000	110.0
10	地方特例交付金	99,800	81,000	18,800	23.2
11	地方交付税	10,250,000	10,220,000	30,000	0.3
12	交通安全対策特別交付金	13,600	13,600	0	0.0
13	分担金及び負担金	291,213	654,218	△ 363,005	△ 55.5
14	使用料及び手数料	319,418	333,738	△ 14,320	△ 4.3
15	国庫支出金	4,357,570	4,058,769	298,801	7.4
16	県支出金	2,412,999	2,317,875	95,124	4.1
17	財産収入	50,729	61,695	△ 10,966	△ 17.8
18	寄附金	300,002	300,002	0	0.0
19	繰入金	1,947,587	1,856,647	90,940	4.9
20	繰越金	50,000	50,000	0	0.0
21	諸収入	1,374,565	1,398,509	△ 23,944	△ 1.7
22	市債	6,110,900	5,617,000	493,900	8.8
90	自動車取得税交付金	0	54,000	△ 54,000	△ 100.0
	計	42,180,000	41,150,000	1,030,000	2.5

歳入目的別内訳

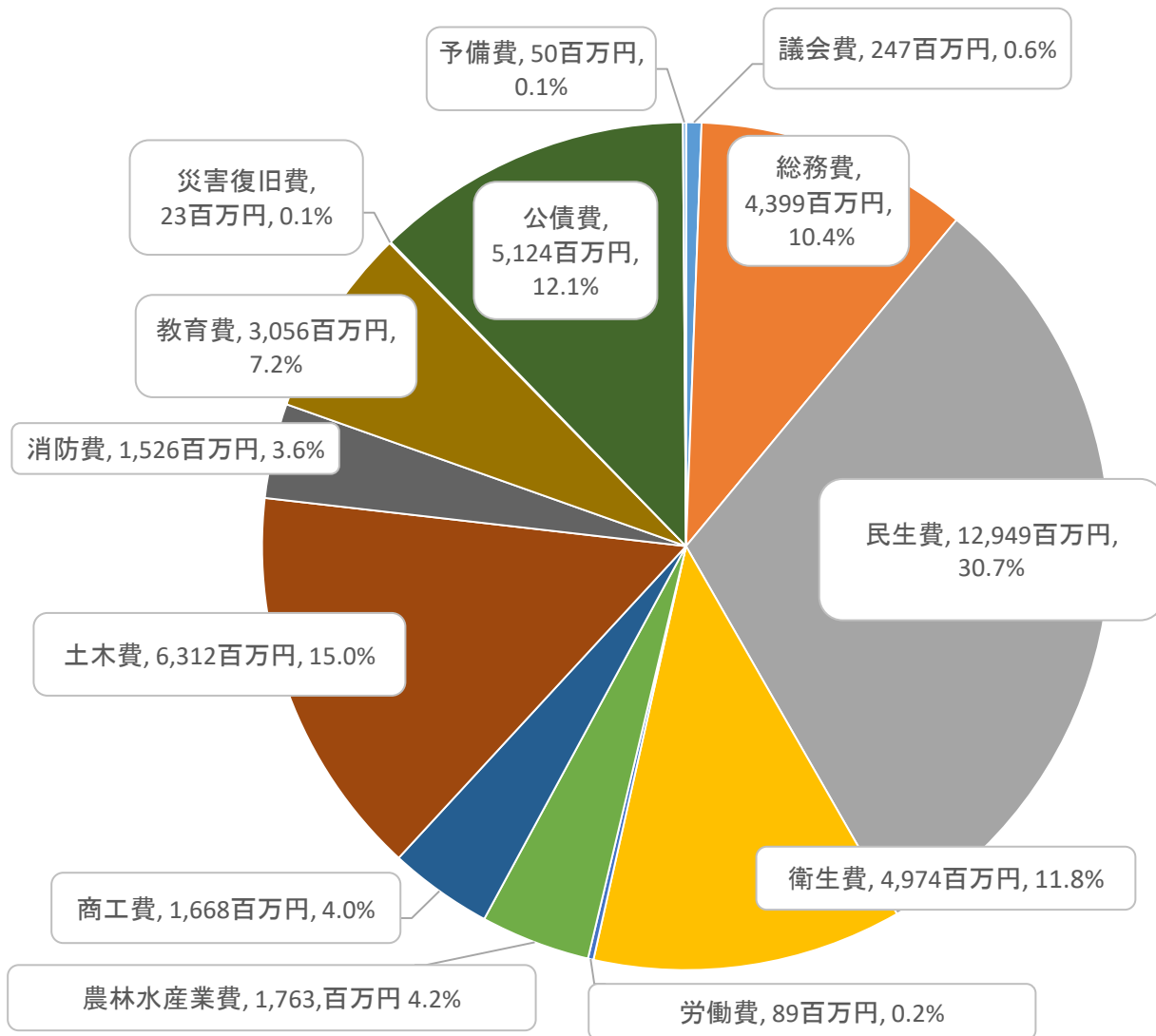


※構成比は、百万円未満四捨五入により、100%とにならない場合があります。
 ※百万円未満四捨五入により、合計額は一致しない場合があります。

歳出（目的別）

款	歳出項目	令和2年度(千円)	令和元年度(千円)	増減(千円)	増減率(%)
01	議会費	247,026	253,513	△6,487	△2.6
02	総務費	4,399,267	4,207,889	191,378	4.5
03	民生費	12,949,271	13,286,588	△337,317	△2.5
04	衛生費	4,973,938	3,806,520	1,167,418	30.7
05	労働費	89,007	61,614	27,393	44.5
06	農林水産業費	1,763,326	1,742,076	21,250	1.2
07	商工費	1,667,896	1,665,842	2,054	0.1
08	土木費	6,311,978	5,706,355	605,623	10.6
09	消防費	1,525,705	1,479,646	46,059	3.1
10	教育費	3,055,813	3,537,583	△481,770	△13.6
11	災害復旧費	23,235	1,500	21,735	1,449.0
12	公債費	5,123,538	5,350,874	△227,336	△4.2
13	予備費	50,000	50,000	0	0.0
	計	42,180,000	41,150,000	1,030,000	2.5

歳出目的別内訳

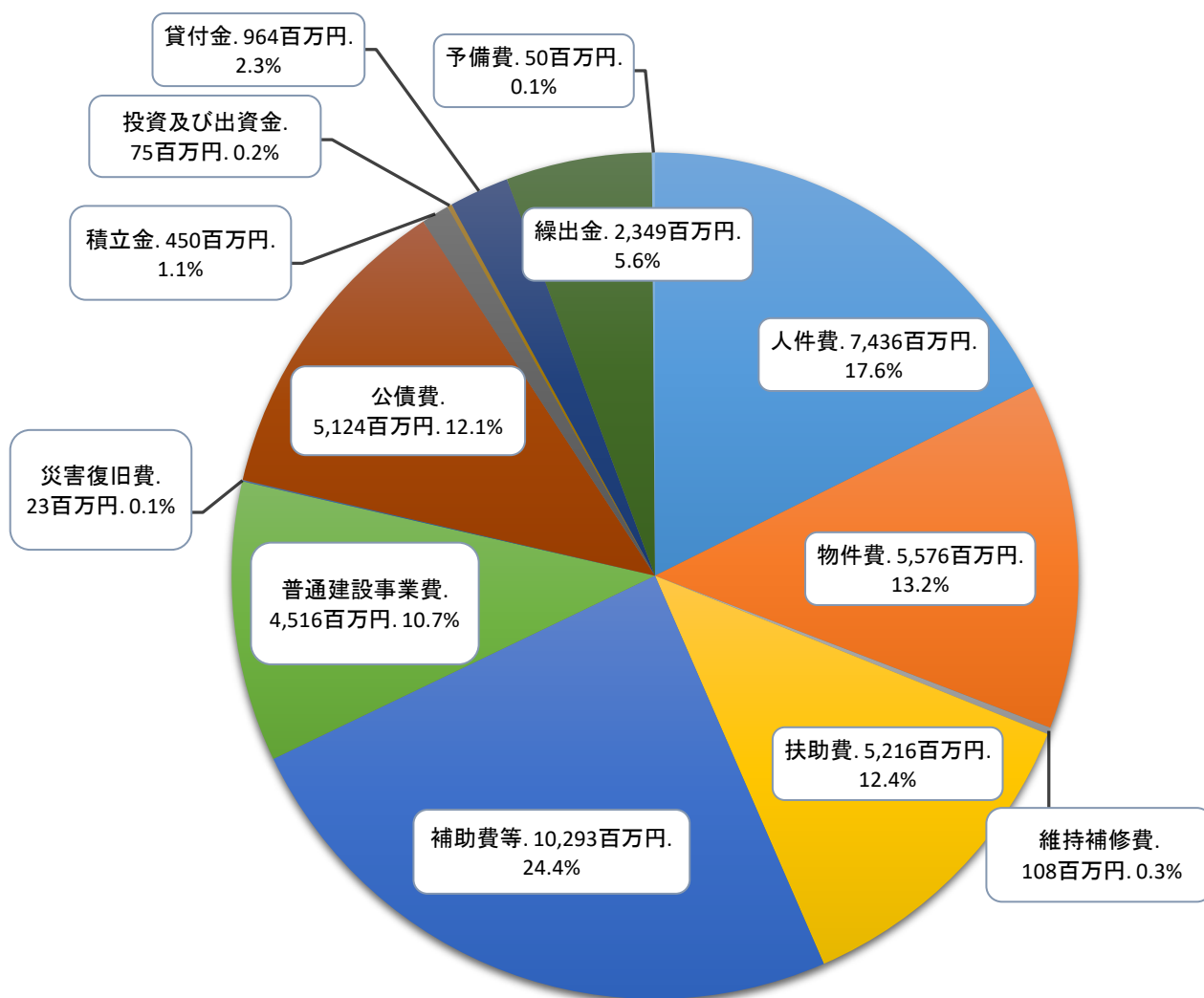


※構成比は、百万円未満四捨五入により、100%とならない場合があります。
 ※百万円未満四捨五入により、合計額は一致しない場合があります。

歳出（性質別）

性質	令和2年度(千円)	令和元年度(千円)	増減(千円)	増減率(%)
人件費	7,436,022	5,762,128	1,673,894	29.0
物件費	5,576,466	7,007,862	△1,431,396	△20.4
維持補修費	108,429	111,134	△2,705	△2.4
扶助費	5,215,773	5,167,071	48,702	0.9
補助費等	10,292,860	9,148,021	1,144,839	12.5
普通建設事業費	4,516,333	4,814,891	△298,558	△6.2
災害復旧費	23,235	1,500	21,735	1,449.0
公債費	5,123,538	5,350,874	△227,336	△4.2
積立金	450,028	337,258	112,770	33.4
投資及び出資金	74,800	162,300	△87,500	△53.9
貸付金	963,896	963,786	110	0.0
繰出金	2,348,620	2,273,175	75,445	3.3
予備費	50,000	50,000	0	0.0
計	42,180,000	41,150,000	1,030,000	2.5

歳出性質別内訳



※構成比は、百万円未満四捨五入により、100%とならない場合があります。
 ※百万円未満四捨五入により、合計額は一致しない場合があります。

④ 債務負担行為

(単位：千円)

事 項	期 間	限 度 額
「会議録調製事務及び会議録印刷製本業務」及び「委員会等記録作成業務」	令和3年度まで	9,820
安曇野市議会だより作成印刷業務	令和3年度まで	3,802
安曇野市ホームページシステム保守	令和3年度から令和7年度まで	15,930
安曇野市ホームページシステム賃貸借	令和3年度から令和7年度まで	17,173
カラー印刷機賃貸借	令和3年度から令和7年度まで	12,002
水資源対策費資金調達運営支援業務	令和3年度まで	4,620
基幹系システム機器（ネットワーク、サーバ等）賃貸借	令和3年度から令和7年度まで	90,207
基幹系システム使用料	令和3年度から令和7年度まで	332,744
基幹系システム保守	令和3年度から令和7年度まで	25,944
基幹系パソコン賃貸借	令和3年度から令和7年度まで	65,637
基幹系プリンター賃貸借	令和3年度から令和7年度まで	17,762
納税コールセンター業務	令和3年度から令和7年度まで	30,360
戸籍総合システムブックレス機器等賃貸借	令和3年度から令和7年度まで	26,627
戸籍総合システムブックレス保守業務	令和3年度から令和7年度まで	18,297
戸籍総合システムブックレスソフトウェア使用料	令和3年度から令和7年度まで	12,474
明科北認定こども園保育業務	令和3年度から令和6年度まで	210,350
生産設備取得事業	令和3年度から令和4年度まで	99,999
信州安曇野ハーフマラソン実行委員会補助金	令和3年度まで	27,500
教育用センターサーバ（第1期構築分）更新事業	令和3年度から令和7年度まで	33,002
安曇野市土地開発公社の借入金に対する金融機関への債務保証	令和3年度まで	500,000

⑤ 主な取組み

事業区分	新規	事業(取組み)名称	事業内容と効果	R2予算額 (単位:千円)
計画の実現に向けて				
ソフト		・議会だより印刷製本費 ・会議録調整業務 ・会議録配信業務 ・議会映像配信システム使用料	議会の審査概要等について、年4回発行している議会だよりに掲載する。本会議や委員会の会議録を作成するとともに、本会議のライブ中継及び録画映像、会議録をインターネットを通じて配信し、市民に開かれた議会運営に努める。	16,692
ソフト		ファイリングシステム事務	文書の個人管理を組織管理(共有化)するために平成27年度から全課に導入したファイリングシステムを維持するため、専門業者による職員研修会を実施する。 なお、これまで委託していた各課巡回調査は職員による直営に切り替えて実施する。	1,145
ソフト		平和都市宣言事業	合併15周年を機に、長崎市から被爆クスノキ2世を譲り受け記念植樹式及び長崎市長講演会を行う。継続事業として、広島平和記念式典へ市内中学校7校から代表生徒28人を派遣し、戦争の悲惨さを学び、平和に対する意識の高揚を図る。安曇野市平和都市宣言の精神に基づき、平和と人権のつどいを開催し、市民の平和に対する意識の醸成を図る。	3,358
ソフト		職員研修事業の実施 (職員管理総務費)	人材育成基本方針に掲げる、目指すべき職員像の実現のため、職員研修実施計画を策定し実施することで、職員のやる気と意欲の向上を図り、組織力の拡充と強化を目指す。	4,354
ハード		職員勤務管理事業	図書館4施設にタイムレコーダーを導入し入退庁記録参照システムに反映させることで、所属長による勤怠管理の徹底を図る。	1,699
ソフト	○	市制施行15周年記念式典実施事業	市制施行15周年記念式典を開催することにより、合併15周年を市民と祝い、市の一体感の醸成をさらに進める。	1,727
ソフト		インターネット広報事業	市ホームページやツイッターによる情報発信を行う。令和3年2月にホームページを改編し、掲載情報の整理と安曇野ブランド発信の強化を図る。	6,819
ソフト		広報発行事業	市の施策を分かりやすく伝えるため、主力の広報媒体として充実化を図る。市制施行15周年を記念した特集を作成する。	38,658
ソフト		地域・行政情報化推進事業	令和元年度にWiFi機器の強化を行い、利便性の向上を図った。今後、適正な維持管理と広報等周知を行い利用促進を図る。	6,501
ソフト	○	市民税賦課等総務費	RPAのソフトウェアライセンスを取得し、課税事務及び関連する事務の中で、データ入力や手順が決まった作業を効率化することにより、人的ミスの防止、入力作業の自動化を図ることにより課税事務の効率化を図ります。	578
ハード		AED維持管理費	公共施設にAEDを配備し、緊急時に使用できるよう消耗品等の交換を行い適切な維持管理をする。	4,700
ソフト		土地開発基金費	土地開発基金で先行取得した土地について市による買戻し手続きを行い、資産の健全運用を図る。	508
ソフト		協働のまちづくり推進事業	「安曇野市協働のまちづくり推進基本方針及び協働のまちづくり推進行動計画」に基づき、諸事業を実施する。 豊かな地域と幸せな市民生活の実現が図れる。	6,930
ソフト		まちづくり推進会議の運営	地域課題の解決に向けて検討を行う「まちづくり推進会議(推進委員会・ワーキンググループ)」を運営する。 地域課題の解決並びに協働の推進が図れる。	445
ソフト		区等交付金の交付	地域力の向上並びに主体的な区民で構成される支え合い助け合う区の仕組みが構築できる。	97,950
ソフト		証明書コンビニ交付事業	個人番号カードを利用して証明書をコンビニで交付することで、窓口の混雑緩和及び市民の利便性向上を図る。	8,810
ソフト		穂高地域づくり事業	地域課題の解決に向け、協働(市民等と行政)で取組む仕組みづくりを推進する。	1,329
ソフト		三郷地域づくり事業	三郷地域の区長さんの相談窓口として、本庁各課と地域をつなぎ、地域課題解決や区運営支援を行う。 地域住民ふれあいの場と位置付ける「ふるさと夏祭り」への補助を行う。	1,806
ソフト		堀金地域づくり事業	地域区長会を開催し、情報交換等を行う事で地域課題の解決に資する。地域振興事業の開催を通し、地域の魅力をピーアールすることで、地域活性化が図られる。	933
ソフト		明科地域づくり事業	地域区長会を開催し、情報交換を行うことで地域課題の解決に資する。「あやめまつり」の開催補助を行う。地域の活性化が図られる。	1,564
ソフト		公平委員会事務費	他自治体における審査請求、措置要求に関する取扱い事例の情報収集やその対応策等について研究するとともに、事例の検討を行う。	526
ソフト		課税客体調査事業	令和3基準年度評価替えに当たり、直近の課税客体の状況を把握する必要があるため、新たに市内の航空写真の撮影を行い、撮影された写真を用いてデジタルオルソを作成しGISシステムに反映させる。	26,751
ソフト		土地の鑑定評価及び評価体系集約化事業	地元に通じた不動産鑑定士や評価支援を行う専門機関を活用し、主に土地の固定資産評価に関する基礎資料を作成する。	12,372
ソフト		納税コールセンター業務委託事業	新規滞納者を増やさないため、納税コールセンターから初期末納者に対して架電を行い自主納付を促す。	5,564
ハード	○	押野集会施設解体事業 (管財担当)	公共施設再配置計画に基づき、老朽化した押野集会施設を解体する。	26,645
ソフト		市有財産管理費 (管財担当)	低未利用地および低未利用施設を処分することにより、維持管理費の低減と自主財源の確保が図られ、新たな宅地供給の促進と税の増収が見込まれる。	39,088

事業区分	新規	事業(取組み)名称	事業内容と効果	R2予算額 (単位:千円)
いきいきと健康に暮らせるまち				
ソフト		介護保険事業計画策定業務	・第8期介護保険事業計画(令和3年度～令和5年度)を策定。 ・介護保険事業の安定的な運営と地域包括ケアシステムの深化・推進。	2,167
ソフト		人権啓発費	イベントの開催や人権パネル展示等による啓発、新成人への啓発等、様々な機会を通じて人権意識の高揚を図り、一人ひとりが平等な立場で個性と能力を十分に発揮できる社会の実現を図る。□	2,642
ソフト		移住定住促進事業	【事業内容】 移住・定住に係る支援体制の構築を進める。 【効果】 官民などが更に連携することで、人口の社会増が期待できる。	5,134
ソフト		自転車活用推進事業	【事業内容】 自転車による健康づくりの実証実験(3か年計画の2年目) 【効果】 自転車による健康効果を実証することで、自転車活用の機運を醸成することができる。	2,391
ソフト		男女共同推進費	男女が共にそれぞれの役割を担いながら、自らの意志で決定し、生涯に亘って参画していける社会を目指し、男女共同参画推進会議、コミュニケーターと共催により、フォーラム並びに講座を開催する。□	937
ハード	○	三郷すみれの郷玄関屋根雨漏り対策工事	【事業内容】三郷すみれの郷玄関天井が、雨漏りで大きく染みになっており、天井ライトのカバー内にも浸水した跡もあることから改修を行う。 【効果】令和元年度の建物調査でも対応の指摘を受けており、至急改修を行い、漏電等のリスク軽減を図る。	648
ソフト		自立支援給付事業	地域社会における共生の実現に向けて、障害福祉サービスの充実や提供等により障がい者・障がい児の日常生活や社会生活を総合的に支援する。	1,495,348
ソフト		障害児通所支援給付事業	日常生活における基本的な動作指導・知識技能の付与・集団への適応訓練・生活能力の向上・社会との交流の促進等を目的に、障がい児及びその家族に障害児福祉サービスを提供することで日常生活や社会生活を総合的に支援する。	210,672
ソフト		児童発達支援事業	【事業内容】多様な専門職による発達に心配のある子ども及び保護者への相談、検査、療育等の実施。関係機関等と連携した支援の実施。 【効果】支援による子どもの発達の促進と保護者の理解の深化により、不適応の軽減や二次障害の発生予防がなされ、自立した生活を営むことができる子どもの育成が見込まれる。	15,425
ソフト		理解促進研修・啓発事業	障がい者等や障がい特性等に関する地域住民の理解を深めるため、また「心のバリアフリー」の推進を図るための研修及び啓発活動を実施することにより、障がい者等が日常生活及び社会生活を営む上で生じる「社会的障壁」の除去および共生社会の実現を図ることを目的とする。 令和2年度は、防災をテーマに講演等を実施する。	94
ソフト		ひきこもり支援事業	【事業内容】 ・相談窓口を明確にし、相談等の実施により個々にあった支援対応や社会復帰の支援につなげていく。 ・家族交流会を実施し家族の孤立予防や情報共有ができるよう支援していく。また、地域での家族会の紹介など地域での支援活動につなげていく。 ・講演会の実施により、地域理解、支援活動を促進する。 ・庁内外の支援関係機関との連携会議を開催し、情報共有と事業実施方法の検討を行い、各事業所・各課等との連携を図り包括的な支援ができるよう考えていく。 【効果】 ・ひきこもりの疾病・障がい等の支援により、ひきこもりの予防につなげることができる。地域でのひきこもりの理解促進につなげていく。	1,058
ソフト	○	児童発達支援等事業運営補助	【事業内容】 児童発達支援事業所数の増大及び、医療的ケアを必要とする児童が児童発達支援事業所に通えるよう、事業所の開設及び看護師の配置に対して補助を行う。 【効果】 児童発達支援事業所数の増加及び医療的ケア児の通所支援	4,450
ソフト		しゃくなげの湯暖らんの湯(家族風呂)利用扶助	【事業内容】 入浴時に介助者を必要とする障がい者に、しゃくなげの湯暖らんの湯(家族風呂)の利用料に扶助を行う。 【効果】 利用者の健康増進と社会参加を促進する。	434
ソフト		子ども学習支援事業	生活保護を含む生活困窮世帯等の子どもに対する学習支援、また、その保護者等に対し生活習慣、育成環境の改善、教育・就労に関する支援等を行うことにより、貧困の連鎖の防止を図る。	3,344
ソフト		生活保護費給付事業	要保護者に対し、生活維持と自立支援を図るため、適正な生活扶助、医療扶助等を給付する。保護費の支給により最低限度の生活維持が可能になる。	613,200
ソフト		社会就労センター管理費	社会就労センターの管理運営を指定管理者へ委託。民間のノウハウを活かし、事業の効率化・安定化が期待できる。	79,620
ハード	○	三郷社会就労センター空調機改修事業	三郷社会就労センター第1作業室のエアコン設備が室内温度調節不能となり改修をするもの。利用者の職場環境を快適に保ち、作業効率の向上を図る。	8,624

事業区分	新規	事業(取組み)名称	事業内容と効果	R2予算額 (単位:千円)
ソフト		女性保護事業	・配偶者暴力相談支援センター機能を積極的に活用し、DV被害者等の安全確保と自立促進に向けた支援に取り組んでいく。 ・母子生活支援施設入所世帯に対し、定期的な状況報告を受けつつ早期自立に向けて支援策を立てていく。 ・DV被害等からの安全確保のため、緊急時にも迅速に対応できるよう避難施設を維持管理していく。 ・多様化する児童虐待、育児不安の相談件数の増加に伴い、専門的な研修会等への参加とともに、関係機関等と情報共有しながら支援していく。	23,783
ソフト		家庭児童相談事業	・児童虐待等への対応における支援体制の強化を図るため、要保護児童対策地域協議会を活用した子ども家庭総合支援拠点の設置に向けて取り組んでいく。 ・子育て支援事業を積極的に活用し、保育施設等の利用促進や各種支援事業により養育者の育児不安を解消していく。	9,605
ソフト		ファミリーサポート事業	・登録会員の増加を図ることで、地域での見守りとともに相互援助活動としての発展に寄与していく。 ・利用促進を図るため、広報活動等に積極的に取り組むことにより、子育て世代を孤立させないとともに気軽に相談できる地域の仲間づくりの場を提供していく。	8,152
ソフト		小規模公園整備事業	・公園管理一元化に向け、再度、公園遊具管理台帳を整備したうえで小規模公園の維持管理等を含めた管理体制のあり方を市として決定づけ、その方針について区長会等を通して提示又は依頼していく。	550
ハード		明科南認定こども園建設事業 たつみ認定こども園建設事業	駐車場を整備することで、円滑に園を運営することが可能になる。 園庭を整備することで、健全な保育環境を提供することができる。(たつみ)	180,775
ソフト		子どものための教育・保育給付費	私立の保育所、認定こども園、幼稚園、地域型保育事業を利用する子どもに対して、教育・保育給付費を負担するとにより、すべての子どもが発達段階に応じた幼児期の教育・保育を受けられる。	436,313
ハード		小規模保育施設整備事業	小規模保育施設の設置者に整備に係る補助金を交付して、施設整備を行い、3歳未満児の受け皿を拡大することにより、待機児童の解消を図る。	40,500
ソフト		生活支援体制整備事業費	・市内5地域に生活支援コーディネーターの配置と協議体を設置し、地域における生活支援や介護予防の体制づくりを進める。 ・高齢者が生きがいや役割を持ち生活することで介護予防や重症化防止が期待できる。	7,486
ソフト		介護用品購入助成事業 (在宅介護福祉事業)	要介護3～5の高齢者を在宅で介護している家族に1か月あたり1,000円の介護用品購入助成券を交付。 介護する家族の経済的、精神的負担の緩和が図られる。	8,192
ソフト		成年後見支援センター運営補助金 (在宅介護福祉事業)	安曇野市他1市5村が利用する成年後見支援センターの運営に対し補助金を交付する。成年後見制度に関する相談、啓発、法人後見の活用等により市民の権利擁護の推進が図られる。	8,190
ソフト		第1号訪問事業	訪問介護相当サービス、訪問型サービスA、訪問型サービスCを実施し、介護予防と日常生活の支援を行うことにより、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を送ることが出来る。	68,553
ソフト		第1号通所事業	通所介護相当サービス、通所型サービスA、通所型サービスCを実施し、介護予防と日常生活の支援を行うことにより高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を送ることが出来る。	216,099
ソフト		後期高齢者医療人間ドック等助成事業	人間ドックの受診に対し、受診内容に応じた費用の一部を助成し、費用の負担軽減を図る。早期発見・治療により重症化予防ができ、後期高齢医療費の抑制を図る。	27,013
ソフト		一般介護予防事業	・介護予防・認知症予防等の教室を実施し、自主的な活動への支援も強化する事業。 ・市民に対し、フレイル対策をについて周知啓発を図る。 ・事業の実施により自主的な介護予防活動の拡大、重症化予防に繋げる。	18,310
ソフト		家族介護支援事業	市民税非課税世帯で要介護4～5の高齢者を在宅介護している人に1か月あたり5,000円の介護用品購入助成券を交付。介護慰労金の交付。介護する家族の精神的、経済的負担の緩和が図られる。	8,920
ソフト		予防接種事業	予防接種法で規定されている定期の予防接種を実施できるように接種券等の送付を行うことにより、感染予防、発病防止、重症化予防、感染症のまん延予防などを図る。	267,599
ソフト	○	造血細胞移植後ワクチン再接種費用助成事業 (予防接種事業)	小児がん等の治療を目的とした造血細胞移植により、移植前に接種した定期予防接種ワクチンの免疫が消滅し、ワクチンの再接種が必要と医師が認めた20歳未満で市内に住所を有する者を対象に助成を行う。	400
ソフト	○	骨髄バンクドナー助成事業	骨髄または末梢血幹細胞を提供した者及びその者が勤務する事業所等に対し、助成金を交付することにより、骨髄等の移植の推進及びドナー登録の推進に寄与する。	600
ソフト		母子・子育て相談事業	妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援(相談・訪問指導等)を提供することにより、安心して妊娠、出産、子育てができる。	6,181
ソフト		産婦健康診査 (産前産後支援事業)	産後2週間及び1か月の産婦の心身の状態を把握する健康診査を実施することで、産後うつ等の早期発見と支援ができる。	9,560
ソフト		産後ケア (産前産後支援事業)	産婦健康診査の結果により、支援が必要な産婦が宿泊型や母乳相談等の産後ケアを利用できる。	4,512
ソフト		不妊・不育症治療費助成事業	不妊・不育症治療を行う夫婦に対して、その治療費の3分の2で上限30万円の助成を行うことにより、経済的負担軽減と少子化対策につなげる。	20,181
ソフト		夜間急病センター運営事業	安曇野市医師会館内にセンターを設置し、医師会医師により夜間の診療を行うことにより、夜間の急病患者や家族の安心の確保と2次救急医療の負担軽減等を図る。	23,744
ソフト		健康づくり事業	健康づくり推進員や食生活改善推進員活動、各地区組織への健康教室や自殺対策におけるゲートキーパー研修等の啓発活動を通して住民自らが健康づくりに取り組むことができる。	2,596

事業区分	新規	事業(取組み)名称	事業内容と効果	R2予算額 (単位:千円)
ソフト		成人検診事業	各種がん検診、結核検診により市民が自らの健康状態を把握し、健康の保持増進に努めることができる。多くの市民が検診を受診できるように受診勧奨を行う。また、精密検査が必要な場合には確実に医療機関を受診できるように支援する。	89,670
ソフト		健康増進事業	一人ひとりの健診等結果に基づいた個別の保健指導を実施することにより、生活習慣病発症予防、重症化予防ができる。成人歯科健診、健康増進法対象者(医療保険未加入者対象)健康診査の個別健診を導入することにより、発症予防・重症化予防を図る。	12,755
ソフト		母子保健事業	乳幼児健診・相談を実施し、発育・発達に関する情報提供を行うことで、保護者が児の発育・発達の状態を理解し、育児不安が軽減し、安心した育児ができる。また虐待予防にもつながる。	16,485
ソフト		健康ポイント事業	保険者努力支援制度の評価指標の一つである「個人へのインセンティブの提供」を実施するため、20歳以上の国保加入者に対し、市が実施する各種検診等を受診した場合に健康ポイントを付与する。 その年度に貯まったポイント500ポイントごとに500円の健康ポイント割引券を次年度に交付し、各種検診等の自己負担金又は農産物直売所での買い物時に割引きを行う。 ポイントを特典に交換することで、健康への意識を高め健診等への受診率向上を図る。	3,663
ソフト		特定健康診査等事業	・特定健康診査等実施計画により、40歳から74歳までの被保険者を対象に、生活習慣病予防に着目した特定健康診査及び特定保健指導を行う。 ・特定健診及び特定保健指導を実施することにより、高血圧・高脂血・糖尿病等の生活習慣病の早期発見・早期治療、健康保持され、その結果国保医療費の負担軽減に繋がる。	215,532
ソフト		人権教育推進委員及び人権教育指導員合同会議及び研修会 (人権教育推進事業)	人権教育推進委員及び人権教育指導員合同会議や各地域人権教育推進協議会において、各種事業を協議し事業内容の充実を図るとともに、合わせて研修会を開催し、人権問題に対する理解を深める機会を設けることで、地域における人権教育の推進を図る。	2,447
魅力ある産業を維持・創造するまち				
ハード		産業団地建設事業	地域未来投資促進法を活用した、あづみ野産業団地拡張事業を実施する。新たな工場用地の造成による企業誘致により、市民及び就労世代の移住希望者の就業先を確保し、雇用の促進と移住定住を促す。	1,084,221
ハード		有明荘照明器具LED化工事	施設玄関、客室等の老朽化した照明器具について段階的に更新及びLED化を進め、施設の健全化に努める。	1,344
ソフト		安曇野市勤労者互助会運営事業	安曇野市勤労者互助会の事業を支援することで、市内に事業所を有する中小の事業者及び従業員の環境整備や福利厚生の上昇による生産性の向上につながる。	4,250
ソフト		勤労者支援事業	住宅取得費用の利子補給、生活資金のあっせん及び勤労者福祉事業への補助を行うことで、勤労者の生活の安定と福祉の向上を図り安心して持続的に働ける環境をつくる。	52,850
ソフト	○	ファインビュー室山改修事業	施設譲渡の検討を進めるための基礎資料として、株価算定業務を行う。	37,511
ソフト	○	ほりで一ゆ〜改修事業	施設譲渡の検討を進めるための基礎資料として、株価算定業務を行う。	121,991
ソフト		農業生産振興事業(市再生協事業)	農業技術向上検証等による所得の増加や、農業農村振興に向けた取組みを実施し、その情報を農家に提供していく。	13,410
ソフト		産地パワーアップ事業	地域の営農戦略として定めた「産地パワーアップ計画」に基づき、意欲ある農業者が高収益な作物、栽培体系への転換を図るための取組みを総合的に支援する。	7,500
ソフト		経営所得安定対策等推進事業	市農業再生協議会が実施している、経営所得安定対策等推進事業を推進することにより、農業経営の安定を図る。	20,500
ソフト		苗箱薬剤購入補助事務	稲作の病害虫防除対策として、薬剤購入費の一部を助成することにより、高い一等米比率を安定して維持している。	4,660
ソフト		市農業振興作物等推進事業	玉ねぎ等の市重点作物及び、麦・大豆・そば・飼料用米の作付けに対して支援を実施し、農業振興並びに産地化に向けた取組みを推進する。	54,947
ソフト		果樹生産農家支援事業	果樹栽培面積の拡大と産地の維持を図るため、果樹共済や果樹棚新設等への助成をおこない、生産者の経営安定を図る。	13,064
ソフト		畜産農家支援事業	環境対策として、畜産農家が購入した資材に対して補助(1/2補助・上限あり)することにより、畜産経営に係る環境、運営面の対策強化を図る。	3,291
ハード		三郷堆肥センター運営事業	市内の自然環境を保全し、市民の生活環境を保持するため、畜ふん尿等を原料とした優良な完熟堆肥を製造することにより、市の有機農業を恒久的に発展させる。	15,800
ソフト		水産資源拡大補助事業	犀川漁業協同組合が取組む、漁業法による水産資源拡大事業に対し補助金を交付し、長野県内水面漁場管理委員会が定めた増殖指示量の確保につなげる。	185
ソフト		担い手・集落支援事業	稼ぐ・守る農業を支える認定農家や集落営農組織を支援する。集落営農組織への取組支援、農業用機械・施設の導入支援等による基盤強化を図る。人農地プランの実践により地域の持続的な農業の推進を図る。	23,890
ソフト		後継者育成事業	市の重要課題である後継者対策として、国及び市の給付金制度を活用し、新規就農者の確保・育成を図る。	40,894
ソフト		荒廃わさび田再生検証事業	2ヶ所目の再生地へパイプハウスを設置し栽培状況を観察するとともに、荒廃化したわさび田の復旧・再生を進め、生産振興に繋げる。	4,000
ソフト		荒廃農地解消事業	農業委員と連携して荒廃農地の減少に努めるとともに、荒廃農地を再生する個人・団体を支援するために、補助金を交付し再生作業を支援し、全体面積の減少へ繋げ農地を保全する。	2,600
ソフト		中山間地域直払事業	中山間地域において農業・農村の持つ多面的機能を確保するため、農地を守る協定を締結することにより、農業生産活動を継続できるとともに、農用地の保全に繋がる。	18,144

事業区分	新規	事業(取組み)名称	事業内容と効果	R2予算額 (単位:千円)
ソフト		有害鳥獣防止対策事業	広域獣害防護柵の設置検討や維持管理支援、個人で設置する侵入防止柵および防止装置への補助等を行うなど未然の防止対策を複合で組合せ対策を講じていくことにより、農作物被害の軽減を図ることができる。	4,957
ソフト		海外輸出販路開拓事業	地方創生推進交付金を活用(H28~R2までの5年間)し、安曇野産農産物・特産品(ワサビ・日本酒等)の海外輸出に向けたプロモーション活動を行う。輸出による消費拡大に伴い、地域農業の振興につなげる。併せて安曇野ブランドの情報発信、並びに外国人旅行者誘致による地域産業の振興を目指す。	3,040
ソフト		農産物等販路拡大事業	玉ねぎ祭りや農林業まつりの開催による、地元農産物のPRや地産地消の推進。アンテナショップや友好都市イベントへの出展を契機とした地元農産物のPRや消費拡大に向けた取り組み。生産者による展示商談会への出展、販路開拓を支援する。	84,225
ソフト		穂高農業活性化施設運営事業	Vif穂高、こねこねハウス、穂高農産物加工所を指定管理委託し、併せて適切な施設整備を実施する。新鮮で安全な農産物等の提供、農産物の加工処理、特産品の開発研究を行うとともに、都市農村交流の場として活用することにより地域農業の振興・地産地消の推進を図る。	9,369
ソフト		堀金物産センター及び農産物処理加工施設運営事業	堀金物産センター及び堀金農産物処理加工施設を指定管理委託し、併せて適切な施設整備を実施する。新鮮で安全な農産物等の提供、農産物の加工処理、特産品の開発研究を行うとともに、都市農村交流の場として活用することにより地域農業の振興・地産地消の推進を図る。	8,352
ソフト		市民農園事業	市内10か所の市民農園の管理・運営を行い、市民が農のある生活を享受できる場を提供する。自分で作物を作る喜びを感じることができることで生きがいづくりとなり、農のある暮らしの充実が図られる。	467
ソフト		南農高校連携事業	安曇野市と南安曇農業高校との連携協定に基づき、都市部での販売実習や共同研究開発事業を行い、生徒の農業に対する意識高揚と実践的能力を養う。将来的な生徒の就農を支援・促進することで、安曇野市の農業・農村の振興を図る。	301
ソフト		農地保全活動交付金 (多面的機能支払)	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、地域の共同活動に係る支援を行う。また、これまでに組織された活動組織の広域化により、事務の軽減を行う。 これにより地域資源の適切な保全が図れる。	267,390
ソフト		有害鳥獣駆除対策事業	猟友会に委託して定期的な有害鳥獣捕獲、クマ個体数調整、緊急対応を行うほか、錯誤捕獲については、信州大学にも併せて対応を委託することにより、計画的に駆除を進めることができる。	14,301
ソフト		里山再生計画推進事業	里山再生計画の推進を図るため、具体的な4プロジェクトを実施することで、多くの市民等が里山に関心を持ち、里山に入ることで現在の里山の抱える課題を解消することができる。	6,659
ソフト		松くい虫防除対策事業市単補助事業	個人庭園松や地域神社林等の所有者や管理者が実施する、薬剤散布、樹幹注入による予防対策費用など予防対策費用や松枯損木の処理経費に対して補助金を交付する。	24,614
ハード		林道危険箇所重点整備事業	補助事業を活用し、林道烏川線の改良工事を実施する。工事を実施し、土砂崩落等の危険箇所を改善することにより、利用者が安心して安全に林道を通行することができる。	20,315
ソフト		農家民宿推進事業	地域おこし協力隊による農家民宿事業の推進。農家・学校等との連絡調整、安全に受け入れるための説明会や研修会、新規受け入れ農家の開拓、新たな農作業体験メニューの発掘、滞在型観光への事業発展に向けた調整などを実施していく。一般客やインバウンドを誘致することで農家の新しい収入源として期待でき、観光業振興にもつなげることができる。	4,381
ソフト		経営改善普及事業	安曇野市商工会の経営支援員による市内事業者の経営相談や経営改善を行う事業を支援することで、小規模事業者の経営の安定を図る。	18,432
ソフト		地域総合振興事業	市内事業者が取り組む地域の活性化を担う事業に対し、その費用の一部を補助することで、地域経済の活性化を図る。	40,217
ソフト		商業事業者支援事業	街路灯維持管理事業により、商業事業者の経営基盤を安定させ、経済活動の活性化を図る。	874
ソフト		制度資金貸付事業	上記の市内金融機関に斡旋資金を預託し、市内企業の運転・設備に必要な資金の貸し付けを行うことで、市内企業の経営の安定と生産性の向上を図る。	925,804
ソフト		企業サポート事業(食品流通系)	事業者のワンストップ機能として配置していた専門のコーディネーターが独立して法人を立ち上げるため、今までの連携に向けた事業支援と販路や経営アドバイスなど総合的な支援事業を業務委託する。	4,767
ソフト		安曇野ブランド創出事業	安曇野の暮らしや食、風土など地域資源を活かした魅力創出と、観光プロモーション事業と連携し、WebやSNS等も活用した訴求力のある情報発信を行い、市のブランド力の向上を図る。	2,494
ソフト		天蚕振興事業	前年度整備した織機等を活用し、継続的な後継者育成事業を行い天蚕糸・製品の生産拡大を図る。市民や来訪者向けに全国に誇る安曇野天蚕をPRするため、体験教室などの充実を図る。	1,523
ソフト		観光イベント事業	信州安曇野ハーフマラソン、安曇野花火、信州安曇野田んぼアートなど、イベントの運営を通じて交流人口の拡大・地域経済の活性化をはかる。すべてのイベントにおいて安全面に十分配慮するとともに救護体制等を整え、来訪者が安心して参加できるよう努め満足度向上につなげる。	35,691
ソフト		来訪者受入環境整備事業	観光振興ビジョンの各施策の定期的な進捗確認や地域おこし協力隊員を活用し、将来を見据えた振興策などの検討と受入体制の充実を図り、域内の観光需要の取り込みにつなげる。	12,201
ソフト		外国人誘客事業 (観光推進組織支援等事業)	地方創生推進交付金を活用し、訪日外国人旅行者の需要を取り込むため、安曇野市観光協会と連携しながら主な誘客先となる国と地域を対象に誘客活動等を行う。また、東京五輪・パラ大会等により増加が見込まれる訪日外国人の市内への誘客を図ると共に受入体制を強化する。	9,800

事業区分	新規	事業(取組み)名称	事業内容と効果	R2予算額 (単位:千円)
ソフト		観光プロモーション事業	発信力強化のため、公募型企画提案方式による情報発信を新たに導入するとともに、WebやSNSの積極的な活用を図る。増加する外国人旅行者の誘客を図るため、安曇野市海外プロモーション協議会を中心に、北アルプスなど外国人に訴求力のある地域資源などを活用したAZUMIINOの情報発信を行う。	28,652
ソフト		広域団体連携事業	県や周辺市町村等との連携により、県外でのPR活動や信州まつもと空港の利用促進、訪日外国人旅行者対応等の事業を広域的に取り組み、地域の枠を超えたより効果的な観光誘客を図る。	8,464
ソフト		しゃくなげの湯ボイラー用薪供給	しゃくなげの湯の薪ボイラーに松くい虫被害木等薪材として供給し、被害木等の有効活用及び施設の適正な運営を図る。	3,619
ソフト		三五山・漆久保トンネル継続監視業務	三五山・漆久保トンネル継続監視業務を行い、利用者の安全安心を確保する。	873
ハード	○	燕岳テント場トイレ整備事業	パノラマ銀座、表銀座の玄関口として、また登山初心者が安全に登山できる山として人気の燕岳にある市の公衆便所について改築(洋式化、環境対策)を行う事により、外国人登山者やリピーター登山者の増加を図る事を目的とし、詳細な設計を行う。	1,840
ハード	○	かじかの里トイレ整備事業	男女兼用の汲み取り式となっている「かじかの里」のトイレについて、改築(水洗化、洋式化、バリアフリー化)を行う事により、施設利用者の満足度を向上させ、県内外から訪れるキャンパーや親水を求めて訪れる市民等の来訪者増加を図る。	33,011
ソフト		自然交流センター「せせらぎ」の運営管理事業	施設の適正な維持管理を行うと共に、有効活用を図り、雄大な安曇野の自然景観と水環境を楽しんでもらい来訪者の増加及び滞在時間の延長を図る。	3,762
ソフト		企業サポート事業(工業系)	市内事業者訪問による情報収集、ビジネスマッチング支援等、市等が助成する各種補助金に関する支援、経営強化に関する支援、関係機関・団体との連携強化によるビジネス創出支援、安曇野工業の発展促進化支援、人材及び技術者育成・創出支援を実施する。	12,803
ソフト		企業助成事業	市商工業助成制度工業系11メニューの利用促進を行い、企業誘致の推進・市内企業の業績向上を図る。また、中小企業の先端設備等導入計画による設備投資を後押しし、年平均3%以上の労働生産性の向上を図る。	206,646
ソフト		御宝田水のふるさと公園の管理事業	御宝田遊水池の草刈整備業務委託等を行い施設の適正な管理により豊かな親水空間を創出し、水辺環境との触れ合いの場を提供する。	964
自然環境を大切にすまち				
ソフト		水資源対策事業	資金調達運営支援業務(令和4年度から、「資金調達」を開始するにあたり、令和2年度から令和3年度にかけて、資金調達ルール(運用、管理体制など)を検討・決定させるため運営支援)の業務委託。	13,050
ソフト		廃棄物収集運搬事業	①市民が指定集積場所に排出する可燃ごみ・不燃ごみを収集し、穂高クリーンセンター等へ搬入する業務を業者へ委託する。 ②市民が分別排出した資源物の収集運搬・保管・中間処理を業者へ委託し、資源物のリサイクルをする。なお、資源物の売却収入の一部を財源として充当する。	358,408
ソフト		穂高広域施設組合新ごみ処理施設建設事業	穂高広域施設組合が進める、令和3年3月共用開始の新ごみ処理施設建設に伴う費用負担に関する事務手続きを行う。	2,816,552
ソフト		ごみ減量化推進事業	出し方の手引き・収集カレンダーの発行及びごみ分別アプリケーションサービスによる啓発を行い、市民より排出される廃棄物の分別の徹底を図り、ごみの減量化・資源化を推進する。	10,721
ソフト		最終処分場施設管理事業	三郷一般廃棄物最終処分場に搬入されたガラス・陶器・家庭焼却灰の埋立て処分業務を委託する。	17,299
ソフト		リサイクルセンター施設管理事業	ごみ減量化・資源化推進のため、利用者への適正な分別指導を行う。また、開場日の混雑時に整理等をし、円滑な施設運営を行う。	13,770
安全・安心で快適なまち				
ソフト		公共交通事業	・地域公共交通網形成計画に基づき事業を行い、持続可能な運行体系と利用者の利便性の向上を図る。 ・要望の寄せられている巡回バスや定時定路線の延伸など、「あづみん」を補完する移動手段の運行の可能性について研究を行う。	76,473
ソフト	○	空家対策等事業	空家の適正管理、利活用を推進するため、建築士・司法書士による相談会及び予防啓発講演会等の開催。空家対策補助金制度(片付け清掃補助、貸家リフォーム補助、空家解体補助)を新設し、空家整備と利活用促進を図っていく。	11,861
ソフト		水道事業出資金	水道事業の統合により、明科地域から豊科地域への送水を行うことができるようになったため、災害時において豊科犀川右岸地域の水量確保のため進められている豊科・明科地域整備事業に出資する。	74,800
ソフト		テレワークセンター事業推進業務(しごと創出事業)	雇用施策のひとつとして、フルタイムでの就労が困難な人に就労環境を提供するため、地方創生推進交付金を活用し、テレワークセンターを運営を塩尻市振興公社に委託する。	6,960
ソフト		有料道路通行料金負担軽減事業	三才山トンネル等有料道路を利用する通勤・通学・通院者に対し、「時間帯割引券」を販売し、利用者の負担軽減を図る。	2,970
ソフト		建設技術者等資格取得費補助金交付事業	建設業者が負担する資格取得費用の1/2以内の額(上限10万円)を補助する。従業員の資格取得で技術者が確保され公共事業の品質確保ができる。また、建設業者の負担軽減により雇用創出が期待できる。	1,300
ハード		内水対策事業	万水川下流域の内水対策のハード対策を実施することにより、地域住民の安全安心な地域づくりが図られる。	23,089
ソフト		土地台帳、公図管理事務	法務局から送付される異動通知書により、地籍情報のデータ更新を業務委託により行う。 地籍管理システムにより土地台帳・公図の閲覧を行い窓口対応の効率化が図られている。	16,038

事業区分	新規	事業(取組み)名称	事業内容と効果	R2予算額 (単位:千円)
ソフト		道路台帳加除事業	道路台帳の適正な調製と保管を図るため、過年度の工事箇所等のデータ更新を業務委託する。 台帳データは、道路行政の基礎的な資料とするほか、道路台帳はホームページ上で閲覧を可能としている。	18,865
ハード		市道新設改良事業(市単独)	生活道路を改良することにより、安全・安心な道路環境を構築する。	290,030
ハード		市道新設改良事業(合併特例債)	幹線道路の整備をすることにより、安全・安心な道路環境を構築する。	260,000
ハード		市道新設改良事業(交付金)	道路整備推進計画に基づく幹線道路の整備により、安全・安心な道路環境が構築される。	285,000
ハード		道路橋梁修繕事業(交付金)	法的義務の橋梁定期点検を進め状態を把握し、必要な補修を行うことにより、施設の長寿命化が図られ、安全性が確保される。	172,500
ハード		河川改修事業	河川改修工事を行い、河川の溢水を防止することで、流域住民の安全・安心が確保される。	1,000
ハード		道路橋梁維持事業	一般交通に支障を及ぼさないよう、道路を常時良好な状態に保つための維持補修を行うことにより、道路利用者に安全で安心な道路環境が提供できる。	281,900
ソフト		除雪融雪事業	市道1,689kmのうち、除雪路線874km、融雪剤散布路線105kmを指定し、除雪及び融雪を行うことにより、積雪、凍結による交通障害を防止し、道路利用者の安全性が確保できる。	123,072
ハード		交通安全施設整備事業	交通安全施設の設置及び維持補修を行うことにより、安全・安心な道路環境を提供できる。	26,900
ハード		河川維持事業	河川の流下能力が損なわれないよう、除草、支障木伐採及び堆積土砂の排除を行う。	19,294
ハード	○	駅周辺整備事業(市単)	未設置であった屋根付駐輪場を整備する事で、公共交通の利便性が良いまちづくりと、駅間の格差解消が図れる。	14,701
ハード		情報案内板整備	統一したデザインによる分かりやすいサインを整備する事で、住民サービスの向上、市の一体感の醸成及び都市景観の向上が図れる。	37,140
ハード		街路整備事業(交付金)	機能的な都市を形成するため、都市計画道路の整備を行う。通学路の安全対策と、中心市街地の円滑な交通が確保される。	127,200
ハード		都市再生整備計画事業(明科駅周辺)	明科駅周辺地区整備により、「安曇野市の東の玄関口」として、活力あるまちづくりを推進する。	398,934
ハード		都市下水路維持管理費(市単独)	都市下水路の排水機能を確保するため、維持管理を行う。適切な排水機能が確保される。	2,167
ハード		市街地排水路改修事業(市単独)	住環境整備のため、排水路の改修を行う。市街地排水路の排水機能が確保される。	8,205
ハード		公園施設長寿命化事業	老朽化により不具合の生じている公園施設の補修・更新を行い、一般市民はもとより子供と子育て中の親の安心・安全、快適な公園利用を図る。	133,942
ソフト	○	花のあるまちづくり推進事業	第36回全国都市緑化信州フェアの開催により高まった、市民の緑化に対する機運を継続・発展させ、緑化の推進を図る。また、花とみどりのシンポジウムを開催し、安曇野らしい魅力の発信を行う。	4,218
ソフト		緑のまちづくり事業	住宅地の緑化向上のため、住宅新築や誕生等の記念樹を配布する。また、生垣設置等を行う場合に補助金を交付する。緑化に対する意識の向上が期待できる。	6,765
ハード		公営住宅等長寿命化事業	市営住宅等を安全で快適な住まいとして長きにわたり確保するため、安曇野市公営住宅等長寿命化計画に基づく修繕及び耐久性の向上等を行うことで、更新コストの削減と事業量の平準化を図る。	28,248
ソフト		公営住宅整備事業	新築された県営アルプス団地へ、市営アルプス団地入居者の移転を実施する。老朽化して募集停止している団地について、計画的に建替え、リノベーション、用途廃止を実施することで居住水準の改善を図る。	5,660
ソフト		住宅・建築物耐震改修促進事業	耐震診断により地震災害に対する住宅の安全性を確認し、診断結果により実施する耐震補強工事に対して補助を行う。市内の住宅の耐震化を進めることで、市民の生命・財産が守られる。	28,507
ソフト		防災マップ改訂 (防災啓発事業)	平成28年2月に発行した防災マップを改訂する。国・県が公表している最新の浸水想定区域図を考慮し、ユニバーサルデザインに配慮することで、見やすく、分かりやすい防災マップとする。各種災害において家庭や地域の防災対策に活用いただく。	5,940
ソフト		防災組織支援事業	地域自主防災会議を開催して組織活動を支援するとともに、全組織において「地区自主防災計画」の策定と防災訓練実施を目指す。	5,747
ハード		消防団車両更新事業	安曇野市消防団車両配備計画報告書(平成23年3月)に基づき、可搬ポンプ積載車(第15分団第1部・第16分団第1部)を更新し、女性消防隊に指揮広報車を配備することで、消防力の向上が図られる。	24,632
ハード		消防団詰所更新・統廃合事業	地域防災の拠点となる消防団詰所(第6分団第1部・第3部統合詰所)の整備を行う。分団・部の再編成により、団員の負担軽減と災害時に確実に出動できる体制の強化が図られる。	37,473
ハード		道路災害復旧事業	災害復旧工事を行うことで、住民の安全・安心が確保される。	1,500
学び合い 人と文化をはぐくむまち				
ソフト		国際友好交流事業	クラムザッハからの訪問団を安曇野市に迎え交流する。特に本年は、オリンピック期間中に訪問団を迎え、安曇野市民と共にオリンピックを観戦し双方の国を応援し合うことで、交流を深め相互理解を促進する。	2,946
ソフト		ホストタウン推進事業	東京2020オリンピック・パラリンピックの開催に向け、全市を挙げて応援機運を醸成し、期間中は観戦ツアーやパブリックビューイングを実施する。また、オーストリアカヌーチームの選手を市へ招き、市民と交流する場を設ける。また、カヌー教室を開催しカヌー競技の理解促進・普及を図る。	7,695

事業区分	新規	事業(取組み)名称	事業内容と効果	R2予算額 (単位:千円)
ソフト		児童館運営事業(民間委託事業)	児童館での子育て支援事業により、子どもの健全な発達と子育て世代の交流を進め、子育て不安の解消を図る。児童クラブの開設により、児童に安全・安心な居場所の提供を行い、保護者が安心して働くことができる環境づくりができる。	216,930
ハード		穂高北部児童館整備事業	老朽化した穂高北部児童館について、新たに用地を取得して新児童館を建設することで、子育て支援の充実と児童クラブの受入れの拡大を図る。	35,852
ハード		新総合体育館建設事業	スポーツ振興の新たな拠点であり、災害時には避難所及び救援物資集積場所として機能する体育館となります。 また、信州安曇野ハーフマラソンスタートの地でもあることから、安曇野市に訪れる方々との交流拠点にもなります。	1,413,770
ソフト		穂高公民館事業	地区公民館対抗球技大会を開催し、穂高地域住民の健康づくりと、親睦・交流の促進を図る。	4,440
ソフト		三郷公民館事業	伝統ある三郷祭(昭和33年～)を継続的に開催することで、生涯学習の成果を発表する場を提供すると共に、世代を超えた交流と、地域の活性化に資する。	5,514
ソフト		堀金公民館事業	地区公民館の支援を行い、地域の活性化を図る。 文化祭・芸能祭を開催し、地域文化活動の振興を図る。 各種講座の開催により、生涯学習の推進を行う。 運動会・一周駅伝大会・冬期スポーツ大会を開催し、スポーツによる健康推進、および交流による地域の絆づくりに寄与する。	4,600
ソフト		明科公民館事業	地域内の交流、市民同士の親睦、体力と健康づくりを目的に、運動会とスポーツ大会を開催する。また、生涯学習の成果を発表するため文化祭を開催する。	4,169
ソフト		教育委員会費	少子化に対応した市内小・中学校の活力ある学校のあり方と今後の方向性について教育委員会で検討後、有識者で構成する検討委員会を設置する。統廃合だけでなく小・中一貫教育等を導入することで、地域に根差す活力ある学校づくりを行う。	5,741
ソフト		学校支援員配置事業	年々増加する発達障がいや医療支援員等の身体的な配慮を要する児童・生徒に、支援員による個別対応を行うことで、当該児童・生徒の安定した生活や周りの児童・生徒の落ち着いた環境を作り、学校全体の生活力・学力の向上を図る。	175,778
ソフト		教育支援センター運営事業	不登校、あるいは不登校傾向にある児童・生徒にとって学校との中間的な役割を果たすことで学校への復帰を促す。また、面談等によって未就学家庭も含め、子育てや学校生活他の教育に関わる相談を幅広く受け付け、内容に応じて学校・関係機関に繋ぐ等、必要な支援を行う。	11,543
ソフト		小学校通級指導教室事業	県費加配担当教員に加えて市費補助指導員を配置し、個別対応やグループソーシャルスキルトレーニングを行うことで、コミュニケーションスキルを向上させるとともに、個々の障がいによる学びにくさの解消を図る。	578
ソフト		中学校通級指導教室事業	個別の対応やグループソーシャルスキルトレーニングを行うことで、コミュニケーションスキルを向上させるとともに、個別の障がいによる学びにくさの解消を図る。	69
ハード		防災機能強化(渡り廊下コンクリートブロック改修工事)	災害発生時に経路となる校内渡り廊下に使用されているコンクリートブロックの除去を行い、安全安心な施設環境を確保する。 (工事箇所:豊科東小学校・穂高西小学校渡り廊下)	1,271
ハード		長寿命化改良	校舎の長寿命化対策(コンクリートの中性化対策等)の実施とともに老朽化対策を実施し、健全な施設環境を確保する (工事箇所:豊科南小学校)	25,080
ハード		体育館ガラス飛散防止対策工事	屋内運動場におけるガラス飛散防止工事を実施することで、災害時の避難場所となる体育館の安全を確保することができる。 工事箇所:豊科北中学校	10,197
ハード	○	西渡り廊下・特別教室北棟西面改修工事	雨漏りによる躯体の劣化を防ぐために渡り廊下の屋根の改修及び北校舎特別棟の西面外壁の劣化が著しいため改修を行い、施設の長寿命化を図る。	8,459
ソフト		コミュニティスクール事業	地域住民による学校応援隊と協力して、地域とともにある開かれた学校の実現を目指す。	8,105
ソフト		安曇野アカデミー (生涯学習講座実施事業)	安曇野市の歴史や文化、伝統等について学ぶ機会を設けることで、安曇野の風土を見つめ、郷土愛を育む。また、得た知識を活用して安曇野の魅力を広く発信していけるよう「学習機会の充実」と「学びの成果を活かす」ことを目的として実施する。	202
ソフト		子ども会育成会支援事務	地区育成会の活動の活発化のために補助金を交付し、異世代交流や地域の伝統文化の継承を促進させ、人間性豊かな子どもの育成を図る。	11,782
ソフト		放課後子ども教室実施事業	市内全小学校で放課後の児童の安全・安心な居場所づくりと異世代・異年齢間の交流により、様々な体験や集団遊びの場を提供し、心豊かなたくましい子どもを育てる。	7,628
ソフト		安曇野市総合芸術展 (中央公民館事業)	各地域文化祭の出展作品の中から選出された絵画や書道、工芸など様々なジャンルの作品約100点を一堂に集めて展示することで、地域を越えた一体感の醸成と芸術・文化の推進を図る。	438
ソフト	○	豊科公民館ピアノリレーマラソン (豊科公民館事業)	ピアノ愛好家の皆さんを対象に募集をかけ、独奏はもちろん連弾や、他の楽器との合奏、ピアノ伴奏による合唱などピアノを使用したものであれば、どのような形態でもよく、リレー形式で演奏を繋いでいくイベントになります。 音響反射板や照明を活用し、音の響きや生演奏の魅力を感じていただくことにより、ホールの利用者増につながっていくことが見込まれ、結果として生涯学習の推進にも結び付いていくものである。	0
ソフト	○	聖火リレー実施運営事業費	2020年4月3日、安曇野市を通過する聖火リレー実施に向け、沿道で多くの人が応援できる体制を整え盛り上げるとともに、地域の一体感及びスポーツ振興、共生社会の実現を目指す。	5,959
ソフト	○	プレイボエヌプラス中学生バレーボール選手育成教室(スポーツ教室等開催事業)	バレーボールの国内トッププレイヤーから、選手として必要な「心技体」を学ぶことにより、選手の育成強化やスポーツ競技の活性化を図り、競技スポーツに対する機運を醸成する。	900

事業区分	新規	事業(取組み)名称	事業内容と効果	R2予算額 (単位:千円)
ソフト	○	有森裕子スポーツ大使アスリート体験授業(スポーツ教室等開催事業)	東京オリンピック・パラリンピック開催年にあたり、元オリンピックメダリストが中学校(1校)を対象に、オリンピック等教育を通じた夢や希望、フェアプレイ精神等を学び、人間形成とスポーツ選手育成に繋げる。	1,045
ハード		体育施設修繕 (社会体育施設管理費)	・利用者が安全で快適にスポーツが行える環境を整備するため、施設修繕を行う。主な修繕は、穂高総合体育館防火シャッター修繕、堀金総合体育館避難口誘導灯修繕、県民豊科運動広場遮光ネット修繕、明科体育館駐車区画線修繕である。	7,328
ソフト		指定管理者委託 (市民プール管理費)	穂高プールの管理運営を体育施設運営のノウハウを持つ、株式会社フクシ・エンタープライズに指定管理委託することにより、施設の安全・安心な運営、住民サービスの向上と経費削減を図る。	12,430
ハード		解体工事設計及び跡地造成に伴う予備調査 (穂高プール解体工事)	穂高プールを解体するための設計及び跡地造成に伴う予備調査業務を行う。本年度に解体設計を行うことにより令和3年9月の廃止後、早急に解体工事に入ることができる。	9,954
ソフト		芸術教育普及事業	(一財)地域創造のアウトリーチ・フォーラム、(公財)三井住友海上文化財団の「地域住民のためのコンサート」、長野県文化振興事業団の芸術監督団事業等を招致する。長野県と東京藝術大学の連携協定に基づいた事業の市内実施の支援を行う。市民が芸術に触れるとともに、芸術家と交流する機会を創出する。	5,762
ソフト		文化団体補助事業	日展安曇野展の共催・薪能事業、田淵行男賞写真作品公募事業への補助など	27,218
ソフト		文化財資料センター施設 運営管理事業	発掘調査により、得られた資料の保存活用が図れるよう整理作業を行う。	4,821
ソフト		文化財保全事業	安曇野市内にある文化財の保全を図るため、文化財の指定等に関する事務手続きを行う。 また指定文化財の保存管理のための助言及び財政支援を行う。	2,738
ソフト		地域史研究と文化財保存活用	地域史解明と、文化財の保全を図るための記録保存・調査を進め保存活用を図る。 また、文化財指定等に向けた調査を行う。	1,498
ソフト		埋蔵文化財保護事業	埋蔵文化財包蔵地内の開発行為について、文化財保護法に基づき保護対策を進める。 また記録保存(発掘調査)により得られた資料についての保存活用を図る。	18,392
ソフト		豊科郷土博物館教育普及事業	安曇野市の自然、歴史、民俗及び文化に触れてもらうため、展示や各種講座を開催する。	3,698
ソフト		新市立博物館整備事業	新市立博物館整備についての検討を行い、出前(コンパクト展示)等を開催する。	221
ソフト		貞享義民記念館教育普及事業	貞享義民の業績にかかわる資料及び人権学習に関する展示等を行う。市民の発表の機会と多様な芸術文化に接する機会として公募企画展を開催する。義民に関する講座及び古文書の学習会を開催する。	412
ソフト		市史編纂事業	郷土に対する理解、関心、魅力を深め、今後の魅力あるまちづくりに資する『安曇野市史(仮称)』の編さん事業を開始する。収集した資料や情報を将来に向けて市民に広く公開し、まちづくりや生涯学習、学校教育などへの活用を図る(web用のコンテンツ作成、ボランティアの活用等)。	968
ソフト		文書館教育普及事業	収集・保存している市にとって重要な歴史的もしくは文化的価値を有する公文書や古文書等を活用して展示や講座等を開催する。	3,855
ソフト		図書館資料収集事業	1 新聞・雑誌購入 2 通常図書購入 3 三郷図書館計画購入図書 4 学校調べ学習用図書 など	27,891
ハード		中学校情報教育推進事業	パソコンやソフトウェア等の更新、時代に適した機器の導入を行う。電子黒板等のICT機器を活用した分かりやすい授業を推進し、校務支援システムを活用して教職員の業務に係る負担軽減を図る。	54,813
ソフト		入学準備金貸付事業	高校や大学等への入学に要する費用の支出が困難な家庭に対して入学準備金の貸し付けを無利子で行い、未来を担う人材の育成に寄与する。	8,437
ハード		小学校情報教育推進事業	パソコンやソフトウェア等の更新と時代に適した機器の導入を行い、ICT機器を活用した分かりやすい授業の推進と教職員の業務に係る負担軽減を図り、子どもたちに高度情報化の進んだ社会に適応できるよう教育環境を整備する。	107,688
ソフト		小学校外国語指導講師配置事業	新学習指導要領の実施に伴う英語教育の充実のため、外国語コーディネーター及び外国人外国語指導講師(ALT)を配置し、児童の国際的視野の育成とコミュニケーション能力の素地を養うと共に、英語教科化に対応した教職員の研修を実施する。	28,509
ソフト		中学校外国語指導講師配置事業	英語教育の充実のため、外国人外国語指導講師(ALT)を各校に配置・活用し、生徒の国際的視野の育成とコミュニケーション能力の素地を養う。英会話を中心とした英語課外授業を各校で実施する。	35,556

令和2年度安曇野市各会計予算額一覧

単位：千円

会 計 名	令和2年度 当初予算	令和元年度 当初予算	比 較	対前年度 比率 %
安曇野市一般会計	42,180,000	41,150,000	1,030,000	2.5
安曇野市国民健康保険特別会計	9,815,283	10,507,526	△ 692,243	△ 6.6
安曇野市後期高齢者医療特別会計	1,347,221	1,167,317	179,904	15.4
安曇野市介護保険特別会計	9,453,702	9,354,568	99,134	1.1
安曇野市上川手山林財産区特別会計	1,582	1,825	△ 243	△ 13.3
安曇野市北の沢山林財産区特別会計	883	2,656	△ 1,773	△ 66.8
安曇野市有明山林財産区特別会計	1,192	3,626	△ 2,434	△ 67.1
安曇野市富士尾沢山林財産区特別会計	1,021	1,125	△ 104	△ 9.2
安曇野市穂高山林財産区特別会計	1,092	1,239	△ 147	△ 11.9
安曇野市産業団地造成事業特別会計	1,084,696	32,412	1,052,284	3246.6
安曇野市有明荘特別会計	7,702	12,303	△ 4,601	△ 37.4
特別会計合計	21,714,374	21,084,597	629,777	3.0
総 計（一般会計+特別会計）	63,894,374	62,234,597	1,659,777	2.7

会 計 名 等	令和2年度 当初予算	令和元年度 当初予算	比 較	対前年度 比率 %	
安曇野市水道事業会計	収益的收入	2,349,830	2,335,142	14,688	0.6
	収益的支出	1,910,760	1,887,465	23,295	1.2
	資本的收入	269,319	386,894	△ 117,575	△ 30.4
	資本的支出	1,738,950	1,843,520	△ 104,570	△ 5.7
安曇野市下水道事業会計	収益的收入	4,396,348	4,304,266	92,082	2.1
	収益的支出	3,773,888	3,768,696	5,192	0.1
	資本的收入	777,699	797,227	△ 19,528	△ 2.4
	資本的支出	2,532,549	2,480,707	51,842	2.1